

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

2014(平成 26)年度 学校法人西南学院 事業報告書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement
of
Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目次

2014(平成 26)年度学校法人西南学院事業報告書について	1
I. 学校法人西南学院の概要	
1. 沿革	2
2. 組織図	4
3. 理事・監事・評議員	5
II. 事業の概要	
1. 各学校・園概要報告	
(1) 学院本部	6
(2) 大学	10
(3) 中学校・高等学校	16
(4) 小学校	20
(5) 舞鶴幼稚園	21
(6) 早緑子供の園	22
2. トピックス	
(1) 各学校・園行事	24
(2) 認可・認定・届出	28
(3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士	29
(4) 学位授与	30
3. データ	
(1) 学生・生徒・児童・園児数	31
(2) 教職員数	33
(3) 入学試験日程	34
(4) 入学志願者数及び合格・許可者数	36
(5) 卒業生数	38
(6) 大学卒業生就職状況	39
III. 財務の概要	
1. 資金収支計算	40
2. 消費収支計算	41
3. 貸借対照表	42
4. 財務比率などの推移	43
5. 財務比率比較表	46
6. 学生生徒等納付金一覧表	47

2014(平成 26)年度学校法人西南学院事業報告書について

学校法人西南学院は、2004(平成 16)年以降、当該年度における事業並びに財務の概要を事業報告書としてとりまとめ、2006(平成 18)年度からはその報告書を広く一般にも公開している。2009 年度事業報告書からは、年度初めに策定する事業計画書と内容的な相対性を持たせ、学院の各学校・園における事業の概要がより分かり易い構成となっている。

2010 年 4 月に開校した西南学院小学校の新設によって、西南学院は保育所、幼稚園から大学、大学院までを一貫して備える西日本でも数少ない学校法人となった。各学校・園での教育は、創立時から現在に至るまで建学の精神「西南よ、キリストに忠実なれ」を基としており、2009(平成 21)年からは、更に「21 世紀の西南学院のテーマ“Impacting the World”」を定め、2016(平成 28)年に迎える創立 100 周年に向けた取り組みを学院の内外にて行っている。

本報告書は、Ⅰ. 学校法人西南学院の概要、Ⅱ. 事業の概要、Ⅲ. 財務の概要の 3 部から成り、Ⅱ. 事業の概要においては各学校・園の主要な事業、トピックス及びデータを掲載している。なお、本報告書は、2014 年度内のものを基本としており、以下の内容においては、それぞれ次の時点のものである。

沿革： 2015(平成 27)年 3 月 31 日現在

組織図： 2015(平成 27)年 3 月 31 日現在

理事・監事・評議員： 2015(平成 27)年 3 月 31 日現在

名誉顧問・名誉教授・名誉博士： 2015(平成 27)年 3 月 31 日現在

学位授与： 2015(平成 27)年 3 月 31 日現在

学生・生徒・児童・園児数： 2014(平成 26)年 5 月 1 日現在

教職員数： 2014(平成 26)年 5 月 1 日現在

入学試験日程： 2015(平成 27)年度入試 (2014(平成 26)年度実施の入試)

入学志願者数及び合格・許可者数、卒業生数： 2015(平成 27)年 3 月 31 日現在

大学卒業生就職状況： 2015(平成 27)年 5 月 1 日現在

Ⅲ. 財務の概要においては、2014(平成 26)年度の資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表に加え、帰属収入と帰属収支差額、消費収支計算書の財務比率、貸借対照表の財務比率、各種引当資産等に関する推移も掲載している。また、学生生徒等納付金一覧を巻末に付記している。

I. 学校法人西南学院の概要

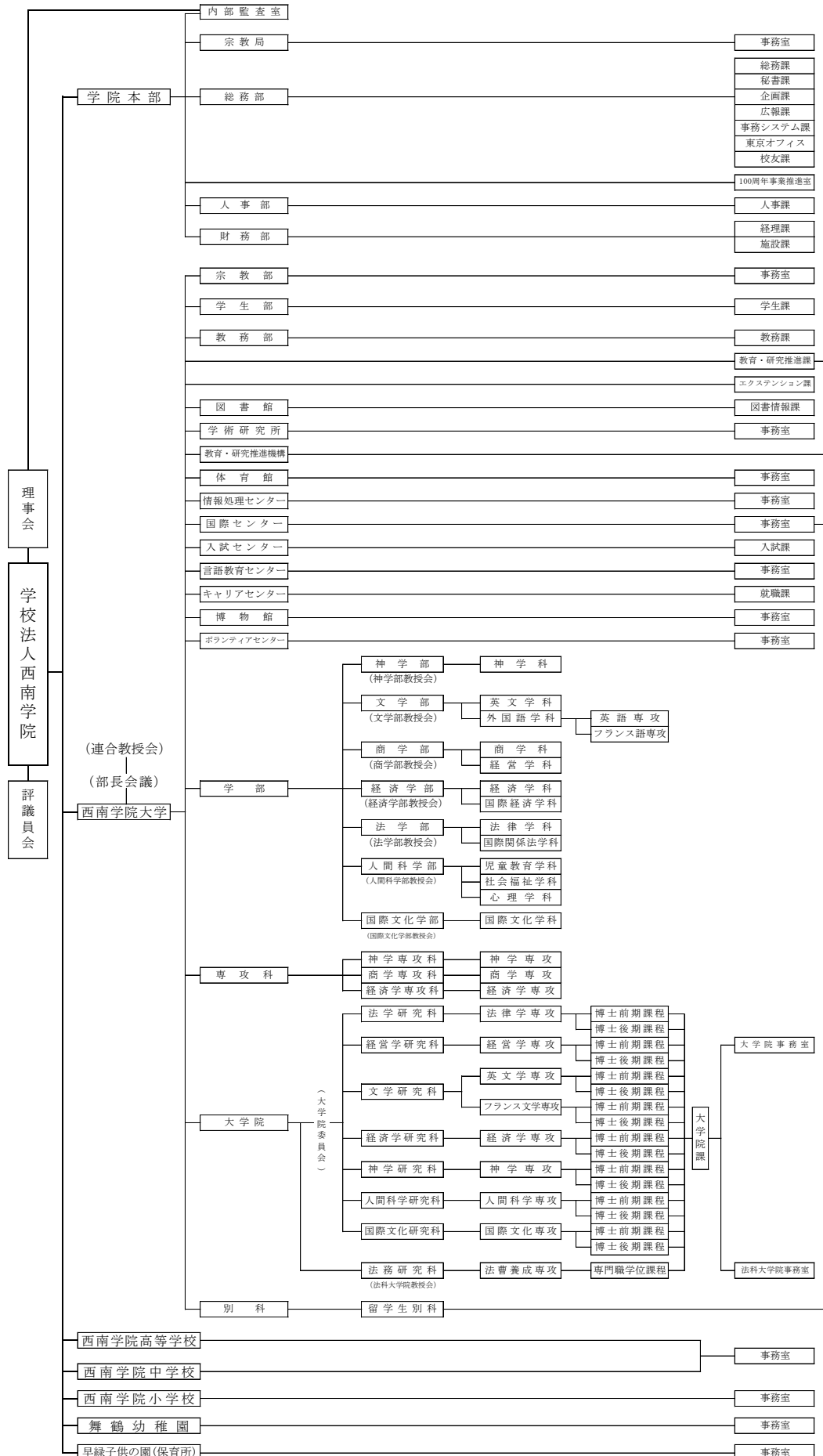
1. 沿革

西暦	元号	年	月	内 容
1916	大正	5年	2月	私立西南学院設立(福岡市大名町105番地)
			4月	西南学院開院式
			11月	私立西南学院を私立中学西南学院と改称
1918		7年	1月	早良郡(現福岡市)西新町に移転
1920		9年	7月	私立中学西南学院を中学西南学院と改称
1921		10年	2月	財団法人私立西南学院財団設立
			4月	西南学院高等学部(文科、商科)設置
			6月	中学西南学院を西南学院中学部と改称
1923		12年	4月	高等学部神学科増設
1939	昭和	14年	4月	西南学院商業学校設置
1944		19年	4月	西南学院高等学部を西南学院経済専門学校と改称、西南学院商業学校を西南学院工業学校に転換
1946		21年	4月	西南学院工業学校が西南学院商業学校となる、西南学院経済専門学校を西南学院専門学校と改称
1947		22年	4月	西南学院専門学校第二部(英文科、経済科)増設、新制西南学院中学校設置
1948		23年	4月	新制西南学院高等学校設置
1949		24年	4月	西南学院大学学芸学部(神学専攻、英文学専攻、商学専攻)設置
1950		25年	4月	西南学院大学短期大学部(児童教育科、第二部:英語科、商科)設置
			4月	舞鶴幼稚園(大正3年3月設置認可)および早緑子供の園(昭和24年6月開設)を西南学院に合併
1951		26年	2月	財団法人私立西南学院財団を学校法人西南学院へ組織変更
			4月	大学学芸学部を文商学部と改称
1954		29年	3月	西南学院専門学校廃止
			4月	大学文商学部を文学部(神学科、英文学科)と商学部(商学科)に分離、文学専攻科(神学専攻、英文学専攻)および商学専攻科(商学専攻)設置
1962		37年	3月	短期大学部第二部(英語科、商科)廃止
			4月	西南聖書学院設置、大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻増設
1964		39年	3月	大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻廃止
			4月	大学経済学部(経済学科)および経済学専攻科(経済学専攻)設置
1965		40年	4月	大学文学部外国語学科増設
1966		41年	3月	大学文学部(神学科)および文学専攻科(神学専攻)廃止
			4月	大学神学部(神学科)および神学専攻科(神学専攻)設置、商学部経営学学科増設
1967		42年	4月	大学法学部法律学科設置
1969		44年	4月	大学文学部外国語学科を英語専攻とフランス語専攻に分離、文学専攻科に英語専攻およびフランス語専攻増設
1970		45年	4月	大学商学専攻科経営学専攻増設
1971		46年	4月	大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置
			6月	大学国際交流制度発足
1972		47年	3月	大学商学専攻科経営学専攻廃止
			4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1973		48年	4月	大学留学生別科設置
1974		49年	4月	大学院法学研究科法律学専攻博士課程および経営学研究科経営学専攻博士課程並びに大学文学部児童教育学科増設
1975		50年	3月	短期大学部(児童教育科)および西南聖書学院廃止
1976		51年	4月	大学文学部国際文化学科増設、大学院文学研究科英文学専攻修士課程およびフランス文学専攻修士課程設置
1978		53年	3月	大学文学専攻科(英文学専攻、英語専攻、フランス語専攻)廃止
1980		55年	4月	大学文学専攻科(国際文化専攻)設置、大学院文学研究科英文学専攻博士課程およびフランス文学専攻博士課程増設
1981		56年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置

西暦	元号	年	月	内 容
1985	昭和	60年	4月	博物館学芸員課程設置
1988		63年	4月	大学経済学部経済学科を経済学専攻と国際経済学専攻に分離、大学神学部神学科に神学コースおよびキリスト教人文学コース設置
1992	平成	4年	4月	大学法学部国際関係法学科増設
1994		6年	4月	西南学院高等学校男女共学へ移行
1996		8年	4月	西南学院中学校男女共学へ移行、西南学院中学校・高等学校一貫教育実施
1997		9年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻修士課程増設
2000		12年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻博士課程増設
2001		13年	4月	大学文学部社会福祉学科増設
2004		16年	4月	大学院法務研究科法曹養成専攻(法科大学院)専門職学位課程設置
2005		17年	3月	大学文学部児童教育学科、社会福祉学科および経済学部経済学科の2専攻(経済学専攻、国際経済学専攻)廃止
			4月	大学人間科学部児童教育学科、社会福祉学科設置および経済学部国際経済学専攻増設
			4月	大学院神学研究科神学専攻修士課程および人間科学研究科人間科学専攻修士課程設置
2006		18年	3月	大学文学部国際文化学科、文学専攻科(国際文化専攻)および大学院文学研究科国際文化専攻博士課程廃止
			4月	大学国際文化学部国際文化学科および大学院国際文化研究科国際文化専攻博士課程設置
2007		19年	4月	大学院神学研究科神学専攻博士課程および人間科学研究科人間科学専攻博士課程増設
2009		21年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程増設
2010		22年	4月	西南学院小学校開設
2012		24年	4月	大学人間科学部心理学科増設

2. 組織図

2015(平成27)年3月31日現在



3. 理事・監事・評議員

[2015(平成27)年3月31日現在]

◎理事長 ○常任理事

職名	系 列	氏 名
理事 (定数22名) 現員21名	院 長	◎ G.W. ハークレー
	学 長	○ K. J. シャフナー
	高等学校長	○ 中根 広 秋
	中学校長	[中根 広 秋]
	小学校長	○ 和佐野 健吾
	事務局長	○ 高 良 研 一
	副 学 長	中 馬 正 博 石 森 久 広
	大学部長会議構成員	○ 後 藤 新 治 古 賀 衛 村 岡 伸 秋
	牧 師 系 列	三 田 照 雄 踊 一 郎 奥 田 知 志 平 良 憲 誠
	評 議 員 系 列	井 上 哲 雄
	卒 業 者 系 列	秀 島 正 博 田 川 大 介
	学識経験者系列	北 村 慎 二 松 原 照 明 松 本 素 代 美 酒 見 啓 祐
監事(定数2名) 現員2名		中 村 一 也 吉 田 口 俊
評 議 員 (定数50名) 現員47名	院 長	G.W. ハークレー
	学 長	K. J. シャフナー
	高等学校長	中 根 広 秋
	中学校長	[中根 広 秋]
	小学校長	和佐野 健吾
	宗教局長	[G.W.ハークレー]
	事務局長	高 良 研 一
	副 学 長	中 馬 正 博 石 森 久 広
	大学部長会議構成員	福 浦 幾 巳 後 藤 新 治 古 賀 衛 村 岡 伸 秋 須 藤 伊 知 郎
	高等学校教頭	早 川 寛
	中学校教頭	山 内 芳 広
	小学校教頭	宮 崎 隆 一
	高等学校宗教主任	坂 東 資 朗
	中学校宗教主任	宮 崎 宗 親
	幼稚園長	井 上 哲 雄
	保育所園長	[和佐野 健吾]
	事務部長会議構成員	坂 井 啓 高 木 幸 二
	牧 師 系 列	三 田 照 雄 踊 一 郎 奥 田 知 志 平 良 憲 誠 友 納 靖 史 渡 邊 し の ぶ
	卒 業 者 系 列	崔 白 雲 藤 井 千 佐 子 秀 島 正 博 伊 原 幹 治 川 内 光 中 村 晴 光 大 崎 完 治 田 川 大 介
	学識経験者系列	北 村 慎 二 小 早 川 晶 松 原 照 明 松 本 素 代 美 宮 崎 信 義 向 谷 章 光 酒 見 啓 祐 綿 貫 真 理 山 本 光 吉 田 扶 久 子
教 職 員 系 列	岩 間 徹 大 杉 晋 介 土 田 珠 紀	

注:各系列内はアルファベット順。

注:〔 〕は兼務を示す。

Ⅱ. 事業の概要

1. 各学校・園概要報告

(1) 学院本部

A. 新たな西南学院のビジョン策定

当初、2014年度の事業計画には掲げていなかったが、創立100周年(2016年)という大きな節目を迎えるにあたり、原点といえる建学の精神を現代の視点から見つめなおすことで、「学校法人西南学院ビジョン2016-2025」を新たに策定し、2014年12月2日の臨時理事会で承認を得た。

ビジョンは、西南学院にとって重要と考えられる5つの視点、「人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」「教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造」「国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得」「地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働」「経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築」によって構成され、その検討過程では、原案を学内に公表し、積極的に構成員からの意見を募り策定した。建学の精神にはじまり、それに基づき制定された西南学院の使命に続く位置にビジョンがおかれることによって、これから10年先を見据えた目標として機能することが期待される。

B. 本学院の保育・教育の特色及び研究の強化

① 建学の精神に基づく全人格的教育・保育の提供

i. 学院聖句の学院内における浸透

2014年度学院聖句 — 感謝する Give Thanks — 詩編 9編2節

ii. 建学の精神の教職員への浸透

- ・教職員クリスマス(2014年12月10日) 献金額268,213円
- ・西南学院朝の祈り会(原則毎月第1水曜日)
- ・アルファ・コース(キリスト教入門講座)

iii. 宗教局関連の刊行物の発行

キリスト教についての理解を深めてもらうことを目的として、「宗教局報告」、「宗教局報」、「西南学院とキリスト教」を発行した。

iv. キリスト教精神の地域への浸透

a. 学院コンサートの開催

- ・高橋薫子「高橋薫子ソプラノコンサート」(2014年5月10日)
- ・近藤岳「オルガンコンサート 解返～古と現在を奏でる風」(2014年9月20日)
- ・クアルテット・エクセルシオ「旅する弦楽四重奏」(2014年10月17日)
- ・大村千秋、安積道也音楽主事「チャペルコンサート2015 バッハが遺したもの」(2015年1月12日)

b. 学院クリスマス行事

- ・西南学院コミュニティークリスマス(2014年12月19日) 献金額69,044円

v. 西南デーの実施

地域の諸教会と本学院の直接的な対話を図り、より密接な協力関係を持つことを

目的に、2014年5月から7月の主日に15のキリスト教会にクリスチャン教職員を派遣した。

② 建学の精神に基づく一貫教育による国際的な能力を育成するための教育の推進

各学校・園・保育所では、チャペル等の時間を設けて日常的にキリスト教主義に基づく人格教育を行うと共に、各年齢段階に応じた語学教育、研修・留学の機会等を設けて、語学力及び国際的に活動できる能力の育成に努めた。

③ 教育・研究の強化のための資金の充実

大学では、大学給付奨学金3,969万円、緊急支援奨学金888万円を支給し、経済的な事情で学費の支弁が困難な学生への奨学金事業を実施した。また、本学初のメリットベースの奨学金として、2011年度に創設された「成績優秀者奨学金制度」を維持・継続し、学業をさらに奨励することを目的として1,320万円を支給した。さらに、本学教職員からの寄付金を原資とした「西南学院大学教職員による奨学金」は、7名に対して259万円を支給し、対象となった全ての学生から驚きと感謝に満ちた受給報告書が届いている。なお、中学校・高等学校では奨学基金を1億円増額(累計額4億円)し、運用収入を財源とした奨学金の拡充を検討している。

管理経費は消費増税が導入された中でも前年度比±0%として抑制を図る一方、教育研究経費については内容を精査して増額に努め、人件費の抑制策も鋭意検討している。

C. 学院創立100周年事業の実施

学院創立100周年に向けて、4つの基本コンセプトに基づいた様々な事業を展開している。

① 事業関係

- ・創立100周年記念式典準備部会の設置(中学校・高等学校・大学の各同窓会推薦の委員、総務課・校友課・100周年事業推進室職員により構成)
- ・西南100th Dream Plannersの設置(西南学院の大学生、高校生により構成)
- ・西南学院ゴスペルクワイアの結成(西南学院OG・OBを対象)

② 行事関係

- ・読書教養講座(又吉直樹氏:2014年6月22日、約800名参加/津村記久子氏:2014年12月8日、約70名参加)
- ・西南学院フェア(2014年7月1日~8月3日、各学校・園・保育所にて)
- ・福岡アジア文化賞受賞者 エズラ・F・ヴォーゲル氏講演会(2014年9月18日、約150名参加)
- ・映画「蝸ノ記」試写会(2014年9月22日、約500名参加)
- ・ビブリオバトル学内予選、高校生ビブリオバトル九州山口地区決戦(2014年10月16日、11月30日)
- ・風音2014」コンサート(2014年11月22日、約800名参加)
- ・学術シンポジウム
「一神教は危険か?—宗教間対話の可能性—」(2014年6月11日、コミュニティーセンターにて、約180名参加/2014年10月26日、東京サピアタワーにて、約220名参加)
「詩人・川崎洋 没後10年 かがやくことば」の息づかい」(2014年11月6日、東京サピアタワーにて、約130名参加)

「北欧の子育て事情から学ぶ—子どもの育ちを支える地域社会の在り方—」(2015年2月24日、大学チャペルにて、約220名参加)

- ・西南学院プレゼンツお話アカデミー(2014年7月～2015年3月、九州・沖縄・山口地区の小学生約1,400名参加)
- ・第9回西南リコーダー・フェスティバル(2014年11月8日、大学チャペルにて、約230名参加)
- ・西南学院オラトリオ・アカデミー2014(2014年11月2日・3日、大学チャペルにて、約880名参加[2日間合計])

③ 広報関係

- ・大学卒業生向け広報誌(Re:SPIRIT)発行(毎年3月) 59,000部
- ・100周年新聞広告(2016年まで創立記念日に毎年掲載/6紙:西日本、読売、朝日、毎日、日経、熊日 ※今回は朝日を除外)
- ・100周年記念キャンパス装飾(バナーフラッグ、サイン看板/2014年5月に開始)
- ・記念情報誌「西南学院 Walker」の発刊(2014年6月)
- ・西南オリジナルグッズ「松の葉」、「SEINAN SUI(西南水)」の発売(2014年6月、8月)
- ・創立100周年記念番組 木村栄文氏ドキュメンタリーのテレビ放映(2015年3月)

D. 防災計画の促進

① 防災物品・備蓄物品の整備

危機発生時、災害対策本部が3日間程度活動できることを前提に優先度の高い備蓄品として、2014年度予算において除菌、抗ウイルス製剤、非常用トイレ、ランタン、乾電池、多機能ラジオ、マイクロファイバー毛布、スペースブランケット、オールウェザーブランケットを年次計画で調達した。

② 防火・防災避難訓練の充実

各学校・園・保育所において消防計画に基づき避難訓練を実施し、学生・生徒・児童・園児、教職員の防災に対する意識の向上を図った。

③ 防火・防災体制の強化

大学においては「西南学院大学防火・防災管理規程」を改正し、自衛消防隊の中央キャンパス、西キャンパスの各地区隊の隊長をそれぞれ教務課長、学生課長に変更し、実情に即したものにした。

E. エコキャンパスの促進

各学校・園・保育所のエネルギー使用状況を常任理事会に定期的に報告の上、施設課、総務課、関係事務部署において温暖化対策・環境問題に取り組んだ。大学においては過去1年間の電力デマンドの実績に基づき、電力会社との間で中央・西キャンパスの契約電力を1,600KWから1,550KWへ引き下げ、かつ経費の削減を図った。

また、2014年3月に竣工した新本館ではLED照明やエコボイドなどの設備を取り入れ温暖化対策を図ったが、旧本館に比べてスペースが約2割増加したこともあり、電力消費量が約3割増加したため、照明器具の間引きを実施した。

F. 健全な財政基盤の確立

2013年度から学院創立100周年記念募金を開始し、今年度は1億9,745万円を受け入れた。また、私立大学等経常費補助金の増額を目指し、経常費補助金コンシェルジュを設置し、申請事項の検討、申請内容の検証を行っている。

2014年度の予算執行に当たっては、一定の基準を設定し、工事等の発注において経費削減に努めた。特に、新築物件においては、建築顧問と内容を協議しながら見積額の精査を行い、大幅な経費削減に努めた。物品購入については、株式会社キャンパスサポート西南を活用してさらなる支出の削減に努めている。また、2号基本金として、大学体育館2億円、大学西南会館5,000万円、大学新図書館5億円、大学新講義棟2億5000万円、大学新学術研究所1億5000万円及び中学校・高等学校空調設備4,500万円を積み立てた。

G. 校友行政の充実

① ネットワークの構築

退職教職員の名簿データを整理・追加するとともに、定年退職者には毎月、月報や広報誌などを送付し、中途退職者には年1回、クリスマスカードなどを送付した。

加えて、広報課にて同窓生名簿データの構築を行った。

② 同窓会との連携

中学校、高等学校及び大学の各同窓会と「西南学院・同窓会連合会協議会」及び「西南学院・同窓会連合会協議会実行委員会」を組織し、定期的に会議を行い、100周年事業、100周年記念募金事業などを協力して進めた。また、高等学校・大学の同窓会各支部総会、大学の各種団体総会、女子同窓会総会などに出席し、ネットワークづくりを行った。

③ 100周年記念募金事業の推進

教職員、同窓生、退職教職員、在学生の保護者などに募金の依頼を行った。また、募金事業を円滑に進めるために、2014年11月に募金事業顧問を登用するとともに、福岡の主な企業、同窓生が代表取締役である企業などを訪問し、100周年事業の説明を行うとともに募金依頼を行い、企業とのネットワークづくりを推進した。

H. 東京オフィスの充実

関東圏における就職活動の拠点として、就職活動中の学生約350名が利用した。また、陸上・走り幅跳びのパラリンピック選手である佐藤真海氏によるトークショー(2014年6月5日、約280名参加)、人間科学部小林隆児教授を講座責任者とした公開講座(2014年11月16日、約120名参加)、精神科医の名越康文氏による講演会(2015年3月6日、約250名参加)など様々な取り組みを実施した。さらに、同オフィスは、教職員の研究活動、同窓生の交流の場としても大いに活用されている。

(2) 大学

A. 教育と研究の充実と強化のために

① 人格教育の強化

i. 大学宗教部活動の充実

- a. チャペル〔前期：4月～7月、後期：9月～1月〕
 - ・教育プログラムの一環として、毎週火曜日～木曜日(10時35分～11時の25分間)に全学生を対象に実施した。
- b. キリスト教フォーカス・ウィーク
 - ・春季(2014年6月3日～6月5日)
2014年6月3日 金丸 真(日本バプテスト連盟仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師)
2014年6月4、5日 向谷地 生良(北海道医療大学教授、社会福祉法人浦河べてるの家理事)
 - ・秋季(2014年11月25日～11月27日)
2014年11月25日 安武 玄晃(ゴスペルサックス奏者)、西田 勇(ギタリスト)
2014年11月26日・27日 藤野 豊(敬和学園大学人文学部教授)
- c. その他
 - ・クリスマスツリー・ディスプレイ点灯式(2014年11月28日)
 - ・公開演奏会：安武玄晃ゴスペルジャズクリスマスコンサート(2014年11月28日)
 - ・キャンドル・サービス(2014年12月24日)
 - ・宗教部リトリート、オルガニストとの懇談会(2015年2月20日)
 - ・第44回ファカルティ・リトリート(2015年2月25日)
 - ・卒業礼拝(2015年3月20日)

ii. ボランティアセンターによる働きの推進

- ・東日本大震災ボランティア(2014年8月～2015年3月 岩手県・宮城県)
- ・東日本大震災復興支援活動(義援金、チャリティコンサート、パネル展示、委託販売、手芸用品・クリスマスカード・西南水などの送付)
- ・海外ボランティア・ワークキャンプ(2015年2月26日～3月9日、フィリピンにて)
- ・学生サポーター(高校、中学校、幼稚園、特別支援学校への学生派遣)
- ・ストプロ★寄附本プロジェクト 寄附本回収冊数 6,563冊(累計 15,955冊)
寄附金額 245,272円(累計 501,604円)
- ・学生ボランティアの登録
- ・久山療育園(開園祭ボランティア、チャリティコンサート)
- ・ボランティア講座(ノートテイク講座、国際協力入門講座、災害ボランティア講座)
- ・合同説明会(NGO合同説明会、学内各部署ボランティア募集説明会)
- ・他機関との連携による活動(福岡県、福岡市、NGO団体、NPO団体)

② カリキュラムの充実(体系的・構造的な教育課程の編成と共通教育の整備)

各学部、学科、専攻単位で、学生便覧掲載の履修モデルの再確認を依頼し、一部調整、修正が行われた。共通教育検討委員会では、早期に取り組むべき課題として入学前及び初年次教育、学年進行に応じたアカデミックスキルの育成制度の整備、中・長期的に取り組むべき課題として共通教育及び共通科目の意義、位置付けの明確化、学部等での履修推奨科目の設定及び卒業要件の再検討、そして以上の課題に対応するための常置組織としての共通教育委員会の設置を答申した。今後、学内会議体で答申内容が協議される予定である。なお、入学前教育においては、一部の学部で方法の見直し及び改善が行われた。

③ 教育内容・方法の充実(キャリア形成支援の充実)

長年の懸案であった学部教育におけるキャリア形成支援の強化のため、キャリアセンター提供の「キャリアデザイン講座」を1年次の授業で開講することを検討し、2015年度より一部の学部学科での開講が決定した。

④ 国際化の推進

i. 語学教育の強化

学士課程教育の国際化を実質的に展開することを目的として、語学力アップのためのプログラムを検討し、段階的に整備を進めた。その一環で言語教育センターの施設、設備及びメディア教材等の利用促進を図った。全学生に年間最低1回のTOEIC(公開テスト又はIPテスト)の受験を奨励したが、全員の受験は実現しなかった。受験者には受験料の全額又は半額程度の補助に加えて語学検定対策講座の受講料補助も行い、英語学習を側面から強力に支援した。なお、受験料補助については、TOEIC以外にTOEFL、IELTSの語学検定試験に対しても適用して学生の費用負担を大幅に軽減した。各年次の目標スコア到達を目指し、英語コミュニケーション・スキルのレベルアップを図った。

ii. 国際交流

a. 協定校

2014年度は、アメリカのベルモント大学、イギリスのウィンチェスター大学、ドイツのケルン大学、デュースブルク・エッセン大学、イタリアのシエナ外国人大学、アイスランドのアイスランド大学、オーストラリアのディーキン大学、台湾の輔仁大学の8つの協定校を追加し、17か国49大学となった。また、国際文化学部・大学院国際文化研究科がタイのチュラーロンコーン大学と長期留学を前提とした本学初の学部・研究科間協定を締結した。

b. 海外派遣留学生

1学期または1学年間、協定校に留学した海外派遣留学生は60名であった。夏季・春季休暇中の短期語学研修は、9か国12校で実施して、248名が参加した。現在、短期語学研修で学ぶことができる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語に加えてイタリア語の6言語である。

2014年度からグローバル人材育成のために、本学、九州大学、鹿児島大学及び韓国3大学において英語による日韓関係を学ぶ日韓米「国際体験型」共同教育プログラムを開始し、本学からは15名が参加した。

c. 受入れ留学生

留学生別科では、主に協定校からの交換留学生を受け入れて、日本語の他に、

日本の文化、社会、経済等に関する 23 科目を英語により提供した。2014 年度は、82 名の留学生(私費外国人留学生を含む)を受け入れた。また、海外の大学生を対象とした 1 か月間の日本語集中講座である夏期日本語研修には、アメリカ、フランス、チェコ、中国、台湾、韓国の 6 か国 37 名が参加した(募集定員は 40 名)。

d. 交換教授・研究員

2014 年度は、アメリカ、イギリス、中国から交換研究員及び客員研究員 3 名を受け入れた。

⑤ 入試制度の充実

受験生や社会のニーズに基づき検討を進めた結果、2015 年度入試から一般入試 F 日程における東京試験場を設置し、46 名の志願者を集めることができた。また、一般選抜及び公募制推薦入試においてインターネットによる出願システムを導入することにより、受験生の利便性を向上させるとともに、インターネット出願者への入学検定料の割引制度を設けることにより、一般選抜における一人当たりの併願数を増やすことができた。

さらに、西南学院高校及び西南女学院高校に対する推薦入学試験を次のとおり改正した。

A 基準：従来どおりの推薦入試制度

B 基準：商学部・法学部・人間科学部(社会福祉学科)を対象とした、高等学校 3 年間体育会クラブにおいて真摯に取り組み、本学入学後も学業とともに体育会の活性化に貢献できると期待できる者を受け入れる推薦入試制度。高等学校における評定平均値は、A 基準より若干低く設定。

⑥ 学生サービスの充実

正課外教育の充実のために、西新キャンパスと田尻グリーンフィールド間のシャトル便として利用している保有バスを 2015 年度から 1 台を 4 台に増やし、運行を開始することになった。なお、バスは、遠征や合宿等で遠隔地に行く場合の利用も考えられ、学生の遠征費等に係る経費の軽減も見込まれる。

⑦ 大学間連携の強化

i. 継続中の大学間連携

a. 九州大学、福岡女子大学とともに発足した、日本における欧州連合(EU)の高度な学術研究拠点としての EU Institute in Japan(EUIJ)九州において、学部学生や大学院生を対象に EU をテーマにした科目を履修できる「ディプロマプログラム」を実施した。本学からは延べ 325 名が参加し、55 名がディプロマプログラムの修了を申請し、すべて修了認定を受けた。また、本学でシンポジウム及び国際会議を開催したり、留学生への奨学金提供、研究者への助成なども行い、2015 年 3 月をもって、当初予定していた 4 年間の活動を終了した。

b. 本学大学院法学研究科とエクス=マルセイユ大学法学研究科との間で、両大学の修士課程・博士課程の学生に日本法、ヨーロッパ法を修得するための教育コースを提供する連携事業を推進し、2014 年 1 月上旬から 9 月までフランスから交換学生 1 名を受け入れた。

⑧ 新学部・学科の設置に向けた検討

「地域社会及び国際社会に奉仕する創造的な人材を育てる」という西南学院の使

命を実現するとともに、より広く社会からの要請に応えうる能力の育成を目指す学部または学科の新設を進展させることを目的として、「大学学部または学科の新設に関する検討委員会(仮称)」を設置した。2015年1月、当委員会は、新しい分野の教育・研究組織を新設する必要性から全学的視点で検討する委員会にしたいという新学長の考えのもと、正式名称を「新分野の教育・研究組織を考える検討委員会」として発足した。この委員会では、学部設置の必要性があらためて確認されれば、理系分野や英語で授業を行う学際的な学問分野を含めて、柔軟な検討がなされる予定である。

⑨ 大学院の強化(人間科学研究科臨床心理学専攻修士課程の設置)

人間科学部心理学科の卒業生を大学院に受け入れるため、人間科学研究科に臨床心理学専攻修士課程を2016年4月に設置するとともに、臨床心理士の資格を取得するために必要な臨床心理センター(学外に向け相談業務を実施)を前年の2015年度に開設することを学内会議体で承認を得た。また、文部科学省に人間科学研究科臨床心理学専攻修士課程設置に関する事前相談書類を提出し、「届出」で申請が可能であるとの回答を得た。

⑩ 教育・研究支援

i. 内部質保証システムの構築

大学(大学院)設置基準及び認証評価基準を踏まえた内部質保証システムの考え方を定着させ、自律的に展開する仕組みの整備、運用に取り組んだ。昨年度作成した目標設定シートに基づき、自己点検・評価を実施し「2013年度自己点検・評価結果」としてまとめ、学外HPに公開した。自己点検・評価の実施に当たっては、今年度運用を開始した「自己点検・評価システム」を利用した。自己点検・評価の基本的な体制ができあがり、今後は、大学の改革・改善につながる自己点検・評価活動を進めていくことが課題である。

ii. 教育・研究推進機構の活動

a. 教育インキュベートプログラムでは、前期の申請6件、採択5件、後期の申請6件、採択6件という実績であった。採択されたプログラムは、いずれも教育内容や方法に特色を有しているが、実施単位が小さく、支援対象の学生数が少ないため、今後は、各プログラムの成果を検証するとともに、実施単位の拡大と支援対象学生数を増加し、大学全体の教育内容及び方法の改善につなげることが課題である。

b. 研究インキュベートプログラムでは、次年度以降の公募研究助成制度への応募を条件とする研究インキュベート制度への申請1件、採択1件であった。また、科学研究費補助金への同時申請を条件とする研究助成制度への申請は5件であり、現在選考中である。

c. 大学改革フォーラムは、以下の通り実施した。

第18回(7月9日)学修支援の制度整備～初年次教育のあり方について～

講師：岩崎 千晶氏(関西大学教育推進部助教)

毛利 康利氏(西南学院大学法学部教授)

第19回(10月22日)キャリア教育について～職業教育との違い～

講師：大矢 繁夫氏(小樽商科大学 総務・財務担当副学長)

上野 正氏(株式会社九電ビジネスフロント 代表取締役社長)

iii. 教育と学修支援の充実

「特色ある学部教育実施経費」により、学部・学科・専攻で、独自研修、自己学習システムの充実、学部 TA の活用、ICT 教育機器の充実などの取組みがなされた。また、従来から実施している講演会補助、研修参加補助、各種検定補助、ゼミ論集製本、ゲストスピーカー招聘、交流会補助なども、学部・学科・専攻の独自性を生かして活発に行われた。さらに、第 12 次財政計画にて計上された予算により、入学前教育の一層の充実が図られ、学科独自の入学前オリエンテーションなど新たな取組みもなされた。

iv. 大学奨学基金の充実

大学第 12 次財政計画に基づき、大学奨学基金及び教育研究振興基金として、それぞれ 5,000 万円を積立てた。これまでの累計額は大学奨学基金 11 億 8,000 万円、教育研究振興基金 6 億 7,000 万円である。2011 年度から成績優秀者奨学金制度を導入し、2014 年度は 1,320 万円を支給するとともに、緊急支援のための奨学金についても 888 万円を支給した。

B. 社会貢献の充実と強化のために

① 生涯教育の充実

i. 公開講座の開講

- ・「戦争を歩く」(2014 年 5 月 13 日～6 月 24 日、全 7 回、約 100 名参加)
- ・「現代ビジネスの新展開」(2014 年 10 月 3 日～11 月 21 日、全 8 回、約 50 名参加)

ii. リカレント講座の開講

- ・「自閉症スペクトラムの生涯発達とその治療・援助を考える」(2014 年 6 月 28 日、全 4 回、約 50 名参加)
- ・「英語指導力開発ワークショップ 2014」(2014 年 8 月 4 日～8 月 6 日、全 10 回、約 20 名参加)
- ・「乳幼児期の自閉症スペクトラムを「関係」から徹底的に検証する」(2014 年 11 月 29 日、全 5 回、約 30 名参加)

iii. エクステンション講座の開講

- ・「市民の法律ガイド」(5 月 17 日～6 月 11 日、全 5 回、約 40 名参加)他、10 講座

② 博物館の充実

i. 春季及び秋季特別展

春季：大学博物館共同企画シリーズⅣ 学内GP成果展 「海路—海港都市の発展とキリスト教受容のかたち—」2014 年 6 月 16 日～8 月 30 日

秋季：ジュダイカ・コレクションⅢ 「祈りの継承—ユダヤの信仰と美術—」

2014 年 11 月 7 日～2015 年 1 月 17 日

ii. 企画展

- ・産官学連携企画展 「島津・天草一揆の実像と記録」(於南島原市原城図書館)
- ・「シーボルトのみた日本宗教」
- ・「古写真でみる西南学院Ⅳ」
- ・産官学連携事業サテライト展示(於天草市立天草キリシタン館)

- iii. 特別展関連公開講演会(2014年7月、10月、12月)
- iv. ミュージアムセッションI「持続する“連携”のあり方」(於西南学院大学博物館2階講堂)
- v. せいなんこどもワークショップ(小学生対象)
おでかけワークショップ(小学生対象)
- vi. 研究協定の締結(國學院大學博物館、南島原市)
- vii. その他
特別展図録、博物館ニュース、年報、研究紀要、こどもリーフレット、資料集、事業報告書等を発行

C. 教育と研究の環境整備のために

① 大学キャンパスグランドデザインの推進

2012年3月に策定した大学キャンパスグランドデザインは、大学キャンパス整備の基本方針に関して、キャンパスの景観、学生・教職員の動線、省エネや防災対策、地域貢献などの多方面から検討し、施設の建替えや配置、外構等を総合的に計画したマスタープランである。

i. 新図書館の建設

新図書館については、2014年度に設計業務が完了しており、次年度より工事に着手する予定である。

ii. エコキャンパスの推進

大学環境マネジメント委員会を中心に、学内の省資源、省エネルギー、環境負荷低減に資する製品購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理、環境負荷の低減に努めた。また、国と電力会社から示された使用電力削減要請を受け、2014年度においても、昨年度に引き続き夏季休暇期間中の勤務時間変更や節電のための巡回等の省エネ対策強化に努めた。

受動喫煙防止対策に関する委員会においては、キャンパス内完全分煙化という基本方針のもと、防煙対策、分煙対策及び禁煙サポート・節煙対策に取り組んだ。また、2015年3月末日をもって大学院棟東側喫煙スペースを撤去し、法科大学院棟西側喫煙スペースに整理統合を図った。

iii. 将来の施設建設資金の確保

大学第12次財政計画に基づき、大学体育館2億円、大学西南会館5,000万円、大学新図書館5億円、大学新講義棟2億5,000万円、大学新学術研究所1億5,000万円を積み立てた。

② 情報処理環境の整備

2015年9月に計画している西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)の更新に向けて、利用者の要望調査や学内各所の環境調査等を実施し、実現可能な更新計画を策定した。マルチメディア教室の教育機器の新デバイス対応について検討し、33室の機器更新を実施した。

(3) 中学校・高等学校

A. 中学校・高等学校の動きについて

経済指標に好転傾向が見られるという調査結果があるものの、少子化と個人所得の伸び悩みなどを背景として、公立志向が一層強まる中、私立学校を取り巻く環境は依然として厳しいままである。加えて、周辺私学では、校舎の改装や男女共学化、大学との系列化などが進められており、これら改革の先発校であった本校の優位性をどう保ち、「教育の西南」をアピールしていくかが課題となっている。幸いにも本校は志願者に恵まれ、2014年度も必要な生徒数を確保することができた。

また、2015年度大学入学試験の結果は、九州大学への合格者数が減少し40名を下回る結果となった。国公立大学の合格者数も157名と2014年度の167名と比べ減少した。早慶をはじめとする難関私立大学においても、2014年度を下回る合格実績であった。主な大学への合格実績は以下の通りである。

主な大学合格実績 (2015年4月20日現在)

東京大学	3名	京都大学	2名	大阪大学	1名	一橋大学	3名
北海道大学	1名	東北大学	1名	横浜国立大学	1名	神戸大学	2名
広島大学	3名	九州大学	36名	九州工業大学	15名	熊本大学	12名
西南学院大学	149名	早稲田大学	29名	慶應義塾大学	14名	上智大学	8名
国際基督教大学	5名	青山学院大学	11名	同志社大学	26名	立命館大学	47名

B. 2014年度の主な事業

① 学校評価の検討

自己評価・外部評価について、継続的に研究を行っている。なお、具体的な進展までは至っていない。

② 教員研修制度の充実

一定条件を満たす教員を対象に、外部受講等の自己研修に要する経費の全額または一部を補てんするとともに、持ち時間数の軽減を図る措置を講じるなど、研鑽できる環境整備を検討している。また、研修補助のための予算を確保しており、応募ガイドラインについて策定中である。

③ キリスト教教育プログラムの推進・充実

本校の建学の精神の具現化、教育目標のキリスト教教育の側面からの取り組みとして、下記の主要行事をはじめとする各種教育プログラムを推進し、その充実に努めた。

1)チャペル 2)ミッションウィーク 3)ボランティア活動 4)平和教育、人権・「同和」教育

④ 奨学事業の充実

既に積み立てを終えている奨学基金3億円の運用益を財源として、2014年度から新入生奨学金の運用を開始し、32名(中学8名、高校24名)に対して奨学金を給付した。また、今後の安定的な奨学事業財源の確保と有効活用を図っていくため、今後3年をかけて3億円を奨学基金として積み立て、総額6億円まで増額する計画を策定し、2014年度に1億円を基本金に組み入れた。

⑤ 建物、設備の修繕・改修計画の策定

体育館1階部分への空調設備及び校舎空調機器の取り換えについては、補助金活用を視野にいれながら、今後継続して検討する。

なお、校舎4階部室ビレッジ改修のための設計については、具体的な進展がみられなかった。

2014年度中の主な施設設備の改修・整備、機器設置・入れ替えは、以下のとおりである。

1)校舎屋上トップライト防水シール補修および太陽光反射防止フィルム貼付、2)テニスコート人工芝補修、3)理科教室換気扇設置、4)視聴覚教室の映像機器入れ替え、5)チャペル長椅子増設、6)AEDの入れ替え、7)チャペル音響機器入れ替え(中学校・高等学校卒業生記念事業として)、8)東門通用門設置(中学校・高等学校卒業生記念事業として)、9)中学生徒会室の空調機器設置(中学校卒業生記念事業として)

⑥ 事務システムの構築

本部・大学との事務システムの平準化を図るため、2013年度から経理関係・庶務関係を中心とした事務システムの開発に着手した。年度内に一部のシステムが稼働し、業務の効率化にもつながっている。2014年度末で開発作業が完了する予定であったが、1年間延長となった。引き続き、システム開発の進捗状況を確認しながら、2015年度中の開発完了および全面運用の開始を目指す。

⑦ 中高一貫教育体制の再点検

1996年に中高一貫教育がスタートして20年目を迎えるにあたり、中高一貫教育の歩みを検証し、より強固な教育体制作りを目指して、2014年度においては「夏期教員研修会」と「教育懇談会」において本校の歩みや学業面からみた生徒の動向などについて教員全員で確認し、認識の共有を図り、さらに課題の洗い出しを行った。今後、2015年度に新たに設置された中高中長期計画検討委員会などを中心に具体的な検討・分析を進める。

⑧ 西南学院小学校との連携について

2014年度に西南学院小学校からの第1回目の推薦入学生として受け入れた57名の生徒について、1年次の成績を中心に西南学院小学校と学業面および生活面での状況を確認する機会を設けた。今後も継続して連携をとりながら諸問題に取り組んでいく。なお、第2回目となる2015年度の西南学院小学校からの推薦入試では、51名の生徒が入学することとなった。

⑨ 広報活動の充実

2014年度から、委員会組織の改組を行い、新たに中学校と高等学校をまたがる「広報部」を設置し、広報主任と広報担当者を配置した。これにより、広報活動の充実と強化が図られ、本校の持つ特色を校外の方々に広く情報提供することを中心に据えて活動した。また、今後の広報活動の課題についても再確認し、引き続き本校らしく且つ時代に適合した効果的な広報のあり方を検討する。さらに、学院の広報部との連携強化についても取り組む。

⑩ 進路指導の充実

2014年度から、従来まで中学校と高等学校それぞれに設置されていた進路指導部を統合し、中高一貫教育6年間における進路指導体制とした。2015年度においては

中高一貫教育に移行後の検証として、一貫生の成績の推移をまとめ、課題の洗い出しを行った。また、進路説明会等において一本化された進路指導主任が担当することとなり、特に中学生とその保護者に対して高校の進学状況等を説明することにより勉学への意識を高めるよう働きかけた。

C. 東日本大震災被災地支援活動

① チャペル講話

東日本大震災を覚え、震災が発生した3月11日のチャペルにおいて、高校2年生生徒有志の企画・運営によるプログラムを実施し、被災地の復興に向けて祈りをささげた。

② クリスマス献金・「震災わすれない募金2014」

被災地支援活動関連の送呈先は下記のとおり。

クリスマス献金：あしなが育英会、日本バプテスト連盟被災地支援募金、外国人被災者支援センター(以上2012年度から継続)、サンタプロジェクト九州(今年度から)

また、高等学校は3月5日に、中学校は3月12日に、それぞれの生徒の参加を得て行った「震災わすれない募金2015」では21万円を超える献金をお預かりし、上記4団体に送呈させていただいた。

D. 学友会活動の2014年度の主な実績

① 高等学校

「九州大会」

- ・写真部：6/20～6/22(鹿児島県、九州高文連写真展) 優秀賞 3年田中縁
- ・女子ハンドボール部：6/14～15(熊本県、第64回全九州高等学校競技大会)
準優勝
- ・ヨット部：6/13～6/15(全国大会九州予選)
 - 男子シーポッパー級 2年井本将来 第7位
 - 女子FJ級 3年田中・岩田組 第8位
 - 3年伴・小野組 第10位
- ・陸上競技部：6/12～6/15(大分県、全国大会北九州地区予選)
 - 男子110MH 3年勝元森羅 優勝 14秒98
 - 男子400MH 3年勝元森羅 優勝 51秒44 大会新記録
 - 女子やり投げ 3年霜田七星 第6位 42M41

「全国大会」

- ・写真部：7/28～7/30(茨城県、第38回全国高等学校総合文化祭(いばらき総文2014))
文化連盟賞 3年城川真実
- ・書道部：9/7(第43回学生書道コンクール)
文部科学大臣奨励賞 2年石川恵
推薦 2年美濃ちひろ 1年平井優衣
- ・女子ハンドボール部：8/1～8/7
(神奈川県、全国高校総合体育大会(南関東インターハイ)出場)

- 2/5～2/8(佐賀県、九州高校ハンドボール選抜大会)
- ・ ヨット部 : 8/4～8/8 (神奈川県、全国高校総合体育大会 (南関東インターハイ))
 - 女子 FJ 級 3 年田中・岩田組
 - 10/13～10/16(長崎県、長崎国民体育大会)
 - 女子セーリングスピリッツ級福岡県代表 3 年伴・小野組
 - 3/20～3/22(大分県、全九州高等学校選抜ヨット競技大会)
 - 男子 420 級 2 年松尾・1 年伊藤組 第 13 位
 - 男子 FJ 級 2 年西村・2 年山口組 第 12 位
 - 2 年富永・1 年吉田組 第 18 位
 - 1 年浅部・1 年山田組 第 18 位
 - 男子シーホッパー級 SR 1 年青木秀憲 第 17 位
 - 女子 FJ 級 2 年松尾・1 年井上組 第 5 位
 - ・ 陸上競技部 : 7/29～8/4(全国高校総合体育大会(南関東インターハイ))
 - 男子 110MH 3 年勝元森羅 15 秒 26
 - 男子 400MH 3 年勝元森羅 第 8 位入賞 53 秒 71
 - 女子やり投げ 3 年霜田七星 第 8 位入賞 45M19
 - 10/18～10/21(長崎県、長崎国民体育大会)
 - 少年男子 400MH 3 年勝元森羅 第 6 位入賞 52 秒 14
 - 少年女子共通やり投げ 3 年霜田七星 第 15 位 44M43

② 中学校

「九州大会」

- ・ 陸上競技部 : 8/6～8/7(長崎県、九州中学校陸上競技大会)
 - 男子 100m 走 1 年山本開斗 第 6 位
- ・ 硬式テニス部 : 3/25～27(沖縄県、新人戦九州大会) 男子団体戦出場

(4) 小学校

A. 小学校開校5年目の動き

2014年4月1日現在、教職員34名(専任教員16名、常勤講師6名、非常勤講師5名、専任職員1名、嘱託職員5名、臨時職員1名)を配置し、開校5年目を迎えた。4月9日に入学式を行い、1年生65名が入学したことにより、1年生から6年生までの児童総数は413名となった。

B. 教育プログラムの推進

今年度も本校独自の教育プログラムを積極的に展開した。前年度までの反省点を踏まえながら各行事の改善に取り組み、ネイバーキャンプ、ネイチャーキャンプ、スポーツフェスティバルやアSEMBリーなどの縦割教育、春・秋に実施するアートウィークなどの芸術鑑賞、ミッションウィークやクリスマス礼拝などのキリスト教に関する行事など、多様な年間プログラムを実施した。また、西南学院大学の留学生と年次ごとに交流会を行うなど、ウイングタイムを利用した特別授業も実施した。

C. 転入学試験の実施

入学定員を満たしていない新2、3年生について、転入学試験を実施して児童の充足を行った。2年生1名、3年生2名の児童が転入学したことで、財政面の改善が図られた。

D. 後援会組織の活動

後援会発足5年目を迎え、会員数も増加したことから、後援会からの支援体制がさらに充実したものになった。昨年に引き続き図書購入費及び学校環境整備費をご支援いただき、図書館及び校内外の環境整備を更に進めることができた。また、後援会会長を中心に100周年募金事業も始まり、事業初年度において早くも当初の目標額3,000万円を達成した。これら経済的な支援に加え、後援会有志のボランティアによる児童の登下校時の見守り活動も継続して実施され、物心両面におけるサポートを受けることで、児童が快適な学校生活を送ることができた。

E. クリスマス献金

児童・保護者から寄せられたクリスマス献金(195,518円)を下記の団体に寄付した。

『ペンシャワール会』	105,518円
『東日本大震災義援金』	45,000円(西南学院義援金口に入金)
『久山療育園』	45,000円

(5) 舞鶴幼稚園

2014年度の主な事業は次のとおり。

① 保育の質の向上

これまでの保育実践の積み重ねを踏まえて、西南学院大学人間科学部児童教育学科教員の助言を受けながら、カリキュラム改定に向けての研究会を行った。

また、外部講師を招いたり、内部でのテーマを持っての園内研究会を積極的に行った。

② 地域の子育て支援

施設設備や自然環境に恵まれた幼稚園の機能を生かした「親子であそぼう会」や「育児相談会」「園庭開放」など、子育て支援の充実に努めた。

③ 子ども子育て新制度について

新制度を教師全体で学びあい、これからの方向性を探った上で、今までどおりの幼稚園として、地域の幼児教育を担っていくことを決定した。

④ 早緑子供の園との連携

主に年長児同士で保育の交流を行った。

⑤ 安全管理

園のセキュリティシステムを、より安全な新しいシステムに変えた。

⑥ 施設管理

2011年度に行われた施設点検に基づき、計画的に必要な修理を行っている。幼稚園の施設管理、備品用品の購入と構築物を含めた保全のシステムを作り、教職員全員で管理する意識を持つようにした。

⑦ キリスト教保育の浸透

花の日礼拝、運動会、クリスマス礼拝、卒業礼拝などの行事を通して、また、保育参観で子どもと一緒に礼拝することにより、保護者のキリスト教保育への理解が深まった。また週1度の父母礼拝を鳥飼教会で守ることで、教会が身近なものと感じられるようになったとの声も聴くことができた。

(6) 早緑子供の園

乳幼児期の子どもたちにキリスト教を土台とした人間教育の基礎を培うべく、日々の保育の充実のために園内研究会の充実と、保育の点検を行った。

また、2015年度に施行される新しい保育制度「子ども・子育て新制度」について、保育・運営両面からその概要を学び、今後見通しを持って将来計画を立てて行くための準備を始めた。今後、社会の動向を見ながら、早緑子供の園としてどうあるべきかを考えていきたい。加えて、子ども園に移行予定の幼稚園が保育所機能を学ぶための園内研修として、当園において保育実習や観察・見学の希望も多く、他園の保育者と共に学ぶ機会を多く持つことができた。

A. 2014年度の主な事業

① 保育内容の充実

2013年度より始めた、1・2歳児の縦割りクラス編成について2年を経過し、縦割り保育の1クールが終了した。2年間の実践で得られた知見を基に、子どもの育ちやクラス運営について検証しながら保育を進めた。

② 保育所情勢

保育協会などが開催する研修会などに積極的に参加し、認定子ども園への移行に関する事項も含めて新しい情報を得るよう心がけた。また、新制度施行に伴う入所手続きの変更や行政への書類の提出など、事務手続きも進めた。

③ 西南学院大学・西南学院小学校・西南子どもプラザとの連携

大学生が講義、卒論研究、行事の手伝いなどで園を訪れる機会が多かった。保育者養成校と同じ法人にある保育所として、保育実習の受け入れも含め、学びの場を提供すると共に、園としてもよい刺激や支援を受け、充実した連携が図られた。小学校とは継続的な交流を目指し、園児が小学校訪問を行った。また、小学校体育館で行う運動会も4年目を迎え、定着してきた。西南子どもプラザとは、地域の親子に子育て支援の一環として、施設の紹介を行った。

④ 舞鶴幼稚園との連携

西南学院の乳幼児保育・教育施設として、新しい保育制度のもと、両園が同じ敷地にあることの意味を確認するとともに、保育・教育面はもとより、施設設備に関する事項や地域への貢献など、日常的に連携・協力しながら進めた。

⑤ 施設・設備

2011年度に行われた施設点検に基づき、緊急度に従って計画的に必要な修理などを行った。

⑥ 地域への貢献

地域の親子を対象としての「保育園で遊ぼう会」を、土曜日・平日に行い、同時に育児相談の場も設けるなど地域の子育てを支援する事業に取り組んだ。毎回、保育士がテーマを決めてミニ講座を行い、それを楽しみに全会参加の親子も多く、好評であった。

また、保育士が地域の公民館で開かれる子育てサークルに出向いて、地域の親子との交流の機会も持った。この行事は定例化しており、継続しての依頼を受けている。

B. 宗教活動・行事

① イースター礼拝：4月21日

年長児が製作したエッグキャンドルを飾り、幼児クラスで礼拝を守った後、卵のお菓子探しをして祝った。

② 舞鶴幼稚園との合同礼拝：花の日(6月4日)・感謝祭(11月10日)

幼児クラスの子どもたちが、舞鶴幼稚園園児と共に礼拝を守り、その後日ごろお世話になっている方々に、お花や果物を届けた。

③ クリスマス行事

i. アドベント礼拝・ツリー点灯式：12月2日

各クラスでのアドベント礼拝、全体でのツリー点灯式を行った。この日から毎日アドベントカレンダーの窓を開け、クランツに火を灯しながらクリスマスを迎える準備を進めた。ツリーは、お迎え時に親子で飾りつけをしてもらった。

ii. こひつじクリスマス(乳児クラス)：12月6日

クラスごとに保護者も一緒に礼拝を守り、降誕のお話を人形や大型絵本などで観て、その後会食をしてクリスマスを祝った。

iii. クリスマスメッセージ・さみどりクリスマス：12月20日

園長による保護者対象のメッセージ「神は我々と共におられる」の後、子どもたちがキャンドルサービスや降誕劇を行い、クリスマスの喜びを伝えた。

④ 鳥飼バプテスト教会礼拝

幼児クラスの子どもたちが毎月鳥飼教会に出かけて、礼拝堂で牧師先生から神様の話をしていただいた。3月には年長児が卒園礼拝を守った。

⑤ 聖書を学ぶ会

i. 職員対象

年に3回、リディア・ハンキンス宗教主事を招き、月の聖句の背景や意味、子どもたちへの伝え方について学んだ。特に2014年度は、新任保育士や非常勤保育士を対象として、キリスト教保育と日々の保育のつながりを確認した。

ii. 実習生対象

西南学院大学の学生が主の実習期間(年3回)に、リディア・ハンキンス宗教主事にキリスト教保育についての話をしていただき、共に学びの時を持った。

⑥ 職員研修会

前西南学院中学校高等学校校長の伊原幹治氏を講師に、西南学院の歴史とそこに受け継がれてきた建学の精神について話を聞いた。

⑦ 保護者対象

毎月の園だよりで月の聖句や賛美歌を知らせることはもとより、行事の際に礼拝を守ることによって、キリスト教保育の意味を、日々の保育や子どもの姿から伝えた。

2. トピックス

(1) 各学校・園行事〔2014(平成26)年4月～2015(平成27)年3月〕

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション(2日) ・キ学教同盟西南地区協議会総会(25日)	・入学式(1日) ・オリエンテーション(2～4日) ・前期授業開始 (法科大学院：2日、学部：7日、大学院：14日)
5月	・学院創立記念式典(15日)	・学院創立記念式典(15日) ・留学生別科終了式(22日)
6月	・キ学教同盟総会(6～7日) ・日本バプテスト連盟事業体懇談会(20日)	・九州六大学野球春季応援合戦(1日) ・春季キリスト教フォーカス・ウィーク(3～5日) ・入試説明会(28日)
7月	・キ学教同盟事務職員夏期学校(26～28日) ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション(31日) ・キ学教同盟西南地区夏期学校(31日～8月1日)	・入試説明会(1～4日、7日) ・前期試験 (法科大学院：23日～8月5日、学部：28日～8月5日)
8月	・キ学教同盟西南地区校長会(1日) ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会(21～22日) ・職員夏期修養会(26～27日)	・オープンキャンパス(2～3日) ・夏季休暇(6日～9月17日) ・留学生別科入学式(21日) ・法科大学院入試(30～31日)
9月		・大学院秋期入試(6日) ・後期授業開始(18日) ・修学懇談会(21、28日) ・前期卒業証書・学位記授与式(24日) ・ホームカミングデー(27日)
10月	・伝道者養成に関する協議会(1日)	・3年次転・編入等、帰国生入試(25日)
11月	・キ学教同盟西南地区事務長会(4～5日) ・日本バプテスト連盟定期総会(12～14日) ・キ学教同盟学校代表者協議会(14～15日)	・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試(8、13～14日) ・大学祭(13～16日) ・秋季キリスト教フォーカス・ウィーク(25～27日)
12月	・西南学院教職員クリスマス(10日) ・西南学院コミュニティークリスマス(19日)	・キャンドルサービス(24日) ・冬季休暇(27日～1月5日)
1月	・キ学教同盟西南地区校長会(23日)	・大学入試センター試験(17～18日) ・後期試験 (学部：23日～2月2日、法科大学院：23日～2月5日)
2月		・一般入試(4～7、9日) ・法科大学院入試(14日) ・一般入試、大学センター試験利用入試(前期)等合格発表(20日) ・ファカルティ・リトリート(25日) ・大学院春期入試(27～28日)
3月		・大学センター試験利用入試(後期)合格発表(12日) ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式(20日)

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(7日) ・始業式(8日) ・新入生オリエンテーション(9～10日) ・保護者学校説明会(12日) ・保護者進路説明会(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(7日) ・始業式(8日) ・1年学院紹介オリエンテーション(10日) ・学年・学級保護者会(2年：12日、1・3年：19日) ・2年集団生活(23～25日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会(10日) ・教育実習(12～30日) ・学院創立記念式典(15日) ・人権同和教育研修会(16日) ・中間考査(19～21日) ・前期ミッションウィーク(28～30日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ミッションウィーク(12～13日) ・早朝読書週間(12～16日) ・教育実習(12～30日) ・学院創立記念式典(15日) ・人権同和教育研修会(16日) ・中間考査(19～20日) ・後援会総会(29日) ・クラスマッチ(30日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権同和教育特設授業(4～6日) ・前期保護者懇談会(11～17日) ・期末考査(20～25日) ・教育研究会(23日) ・教員聖書研究会(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和授業(3日) ・保護者面談(4～10日) ・教育研究会(23日) ・期末考査(23～25日) ・教員聖書研究会(27日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭(11～12日) ・終業式(18日) ・夏季前期補習(21～30日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中体連開会式(5日) ・終業式(18日) ・指定者補習(28日～8月5日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国への旅(1～4日) ・夏季後期補習(18～27日) ・私学展(23～24日) ・夏季教員研修会(28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季補習(19～26日) ・私学展(23～24日) ・夏季教員研修会(28日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(1日) ・スポーツフェスティバル(3～5日) ・オープンキャンパス(23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(1日) ・体育大会(15日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査(2～6日) ・2年林間学校(13～17日) ・1年・3年遠足(17日) ・人権同和教育特設LHR(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査(1～2日) ・同和特設ビデオ授業(7～8日) ・学校説明会(18日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間(4～14日) ・後期ミッションウィーク(5～7日) ・後期保護者懇談会(5～11日) ・教育懇談会(27日) ・期末考査(27日～12月2日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間(4～16日) ・合唱発表会(7日) ・後期ミッションウィーク(10～12日) ・期末考査(26～28日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアウェルパーティ(16日) ・クリスマス礼拝(1・2年：17日、3年：18日) ・終業式(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝(15日) ・終業式(19日) ・指定者補習(20日～1月7日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(8日) ・専願入試(27日) ・専願入試合格発表(29日) ・教員聖書研究会(29日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(8日) ・中学校入試(20日) ・中学校入試合格発表(22日) ・教員聖書研究会(29日) ・進路交流会(31日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期入試(6日) ・前期入試合格発表(10日) ・後期入試(14日) ・後期入試合格発表(17日) ・期末考査(23～27日) ・卒業礼拝(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年修学旅行(11～14日) ・入学説明会(21日) ・期末考査(24～26日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式(2日) ・入学説明会(18日) ・終業式(20日) ・訪米研修旅行(21日～4月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝(10日) ・修了式(16日) ・終業式(20日) ・指定者補習(24～28日)

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(7日) ・入学式(9日) ・アチーブメントテスト(16日) ・懇談会(18日) ・イースターチャペル(18日) ・防犯教室(22日) ・1・2年合同下校(23日) ・ウェルカムピクニック(25日) ・ウェルカムアセンブリ(25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式(9日) ・入園式(11日) ・教会学校開始(14日) ・イースター礼拝(14日) ・未就園児保育開始(14日) ・家庭訪問(14日～) ・母の会総会(25日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(9日) ・音楽観賞会(12日) ・学院創立記念式典(15日) ・1・2・6年学習参観(16日) ・ミッションウィーク(20～21日) ・3・4・5年学習参観(23日) ・ネイバーキャンプ(1・2年)(29～30日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育開始(8日) ・1学期父母礼拝開始(全9回)(9日) ・父親参加の日(11日) ・ミニ講演会、育児相談(13日) ・学院創立記念式典(15日) ・歓迎遠足(22日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会(3日) ・花の日チャペル(感謝訪問)(3日) ・ネーチャーキャンプ(3・4年)(5～6日) ・個人懇談(11～18日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝(2日) ・ミニ講演会、育児相談(10日) ・防災訓練(30日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートウィーク(3～10日) ・学校公開・説明会(5日) ・平和学習(24日) ・終業式(25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期終業(16日) ・光組合宿保育(17～19日) ・未就園児対象水あそび(西南学院フェア)(23日)
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育(27～30日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(1日) ・夏休み作品展(4～11日) ・入試説明会(6日) ・ヒストリーツアー(5年)(18～19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業(2日) ・まいづるまつり(7日) ・ミニ講演会、育児相談(11日) ・避難訓練(火事)(1) ・教会学校、2学期父母礼拝開始(全9回)(12日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル(11日) ・避難訓練(16日) ・ミッションウィーク(22～23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会(4日) ・未就園児対象どろんこあそび(8日) ・新年度入園募集説明会(16、25日) ・月組お泊り保育(23～24日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・サンクスギビングチャペル(7日) ・入学試験(14～15日) ・舞台芸術観賞会(19日) ・合格発表(20日) ・クリスマスツリー点灯式(25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児願書受付(1日) ・新入園児面接(1日) ・みかん狩り遠足(7、11日) ・感謝祭礼拝(10日) ・未就園児クラス募集説明会(19日) ・クリスマス礼拝(28日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のアートウィーク(1～7日) ・学習参観・懇談会(6日) ・クリスマスチャペル(19日) ・終業式(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス祝会(11、13日) ・もちつき大会(16日) ・子育て講演会(17日) ・2学期終了(19日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(8日) ・アチーブメントテスト(13日) ・新1年生入学説明会(24日) ・ブレインオリンピック(29～30日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業(8日) ・避難訓練(不審者)(19日) ・教会学校、3学期父母礼拝開始(全6回)(23日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のアートウィーク(9～13日) ・学習発表会(13日) ・ウィングツアー(6年)(21～26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・母の会総会(27日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観・懇談会(5～6日) ・フェアウェルアセンブリ(10日) ・卒業礼拝(13日) ・卒業証書授与式(14日) ・修了式(24日) ・入学手続日(26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝(1日) ・卒業式(17日) ・終業式(19日) ・子ども同窓会(21日) ・新入園児健康診断(24日) ・カリキュラム研究会(27日)

(7) 早 緑 子 供 の 園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式(1日) ・保育開始(1日) ・イースター礼拝(21日) ・年長児社会見学1(25日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会1(14日) ・学院創立記念式典(15日) ・春季総合健診(23日) ・保護者会総会(24日) ・親子遠足(24日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝(2日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(10日) ・保育体験会(14日) ・歯科検診(23日) ・乳児クラス保育参観(24日) ・田植え体験会(25日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(1日) ・保育園で遊ぼう会2(西南学院フェア)(5日) ・さみどりこどもまつり(西南学院フェア)(13日) ・プール開き(15日) ・小中学生の集い(23、30日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の集い(6日) ・お泊り保育説明会(29日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊り保育(12～13日) ・保育園で遊ぼう会3(25日) ・人形劇(ゴスペルアクターズ)鑑賞(18日) ・おじいさんおばあさんと遊ぶ会(26日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(30日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学3(3日) ・幼児クラス保育体験会(7日) ・入園説明会(8日) ・運動会(20日) ・秋季総合健診(21日) ・稲刈り体験会(22日) ・幼児クラス遠足(30日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児西南学院小学校訪問(7日) ・入所説明会(8日) ・感謝祭礼拝(10日) ・育児講座1「歯と口と体の健康」(15日) ・乳児クラス保育参観(17日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(18日) ・保育園で遊ぼう会4(19日) ・保護者会クリーンアップ大作戦(29日) ・お米パーティー(29日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・アドベント礼拝(1日) ・ツリー点灯式(1日) ・こひつじクリスマス(6日) ・さみどりクリスマス(20日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会5(10日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(13日) ・交通安全教室(21日) ・小学生同窓会(24日) ・年中、年長児観劇会(27日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会6(3日) ・2015年度入所児面接(13日) ・育児講座2「子育て座談会」(14日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(17日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園礼拝(3日) ・保護者懇談会(6、13日) ・お別れ会(10日) ・お別れ遠足(11日) ・第63回卒園式(21日) ・2014年度保育終了(31日)

(2) 認可・認定・届出

該当なし

(3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士

2015(平成27)年3月31日現在

名誉顧問

氏名	授与年月	氏名	授与年月
伊藤隆夫	2003. 3	寺園喜基	2013. 3
L. K. シート	2004. 4	吉田茂生	2015. 3

名誉教授

氏名	授与年月	氏名	授与年月
ヴェラ L. キャンペルーガラット	1980. 4	L. K. シート	2004. 10
杉原実	1993. 4	ハーシェル C. ジョンソン	2004. 10
唐木田芳文	1994. 4	古川暢朗	2005. 4
堤克彦	1994. 10	堺太郎	2005. 4
大内和臣	1995. 4	片岡章	2006. 4
尾崎恵子	1996. 4	小森俊介	2007. 4
岡本幸雄	1996. 4	古川卓萬	2007. 4
後藤泰二	1996. 4	斉藤末弘	2007. 4
関谷定夫	1996. 4	村上隆太	2008. 4
泉マス子	1997. 4	戸星善宏	2008. 4
ヒュー H. ヤング	1997. 4	吾郷健二	2010. 4
中村清	1997. 4	大濱順彦	2010. 4
安徳典光	1999. 4	井口正俊	2010. 4
平野正	1999. 4	堤啓次郎	2010. 4
河野信子	1999. 4	森泰男	2011. 4
屋宜和夫	1999. 4	小林洋一	2012. 4
古澤嘉生	2000. 4	安河内英光	2012. 4
田代義範	2000. 4	前田芳人	2012. 4
上野武	2000. 4	新谷正彦	2012. 4
原田三喜雄	2001. 4	河島幸夫	2012. 4
佐渡谷重信	2002. 4	青野太潮	2013. 4
八木幹	2002. 4	古屋靖二	2013. 4
中村栄子	2002. 4	土方久	2013. 4
八田正光	2002. 4	王孝廉	2013. 4
山口稻生	2002. 4	沢野直紀	2013. 4
川島信義	2002. 4	江副憲昭	2014. 4
太田和男	2003. 4	藤田尚充	2014. 4
山崎勇視	2004. 4	森本利和	2014. 4
西嶋幸右	2004. 4	高倉洋彰	2014. 4
山中耕作	2004. 4		

名誉博士

氏名	授与年月
J. ゴードン キングスレー	1989. 11
ジョナサン・マゴネット	2014. 5

2014(平成26)年度中の異動

名誉教授 山崎 剛氏は2014(平成26)年11月21日逝去

名誉教授 中尾 英俊氏は2014(平成26)年12月21日逝去

(4) 学位授与

該当なし

3. データ

(1) 学生・生徒・児童・園児数

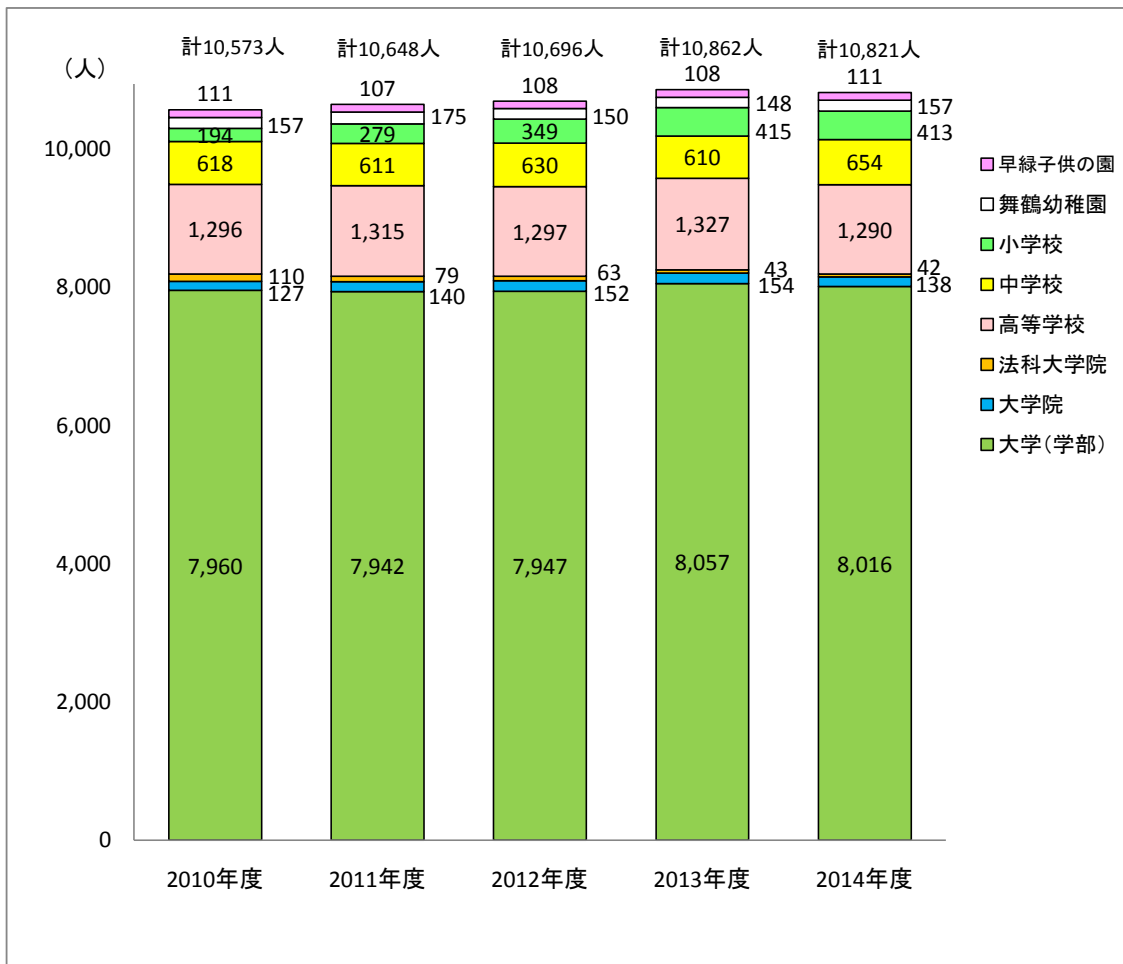
2014(平成26)年5月1日現在

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				収 容 定 員	入 学 者	総 数
大	神 学 部	神 学 科		40	7	46
	文 学 部	英 文 学 科		400	113	481
		外国語学科	英 語 専 攻	400	109	485
			フ ラ ン ス 語 専 攻	200	63	250
	商 学 部	商 学 科		600	162	729
		経 営 学 科		600	145	736
	経 済 学 部	経 済 学 科		800	216	938
		国 際 経 済 学 科		400	132	485
	法 学 部	法 律 学 科		1,080	292	1,324
		国 際 関 係 法 学 科		320	97	413
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		400	99	480
		社 会 福 祉 学 科		500	110	589
		心 理 学 科		300	125	346
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		600	161	714
(小 計)				6,640	1,831	8,016
学	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	博 士 前 期	20	2	4
			博 士 後 期	9	0	3
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	博 士 前 期	20	15	33
			博 士 後 期	9	0	5
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	20	5	12
			博 士 後 期	9	3	4
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	2	3
			博 士 後 期	9	2	4
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	博 士 前 期	14	2	5
			博 士 後 期	9	1	3
	神 学 研 究 科	神 学 専 攻	博 士 前 期	14	3	9
			博 士 後 期	6	1	2
	人 間 科 学 研 究 科	人 間 科 学 専 攻	博 士 前 期	20	6	14
			博 士 後 期	9	0	7
国 際 文 化 研 究 科	国 際 文 化 専 攻	博 士 前 期	20	3	19	
		博 士 後 期	9	2	11	
(小 計)				207	47	138
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	105	11	42
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済			30	2	2
選 科 生	神 学 部			若 干 名	3	4
留 学 生 別 科				30	60	36
〔 大 学 計 〕				7,012	1,954	8,238
高 等 学 校				1,350	423	1,290
中 学 校				620	241	654
小 学 校				420	65	413
舞 鶴 幼 稚 園				160	57	157
早 緑 子 供 の 園				90	21	111
〔 合 計 〕				9,652	2,761	10,863

注：大学学部の入学者数は1年次入試のみ。

学生・生徒・児童・園児数の推移

各年度 5月1日現在



※大学専攻科、選科生、留学生別科の学生数は含まない。

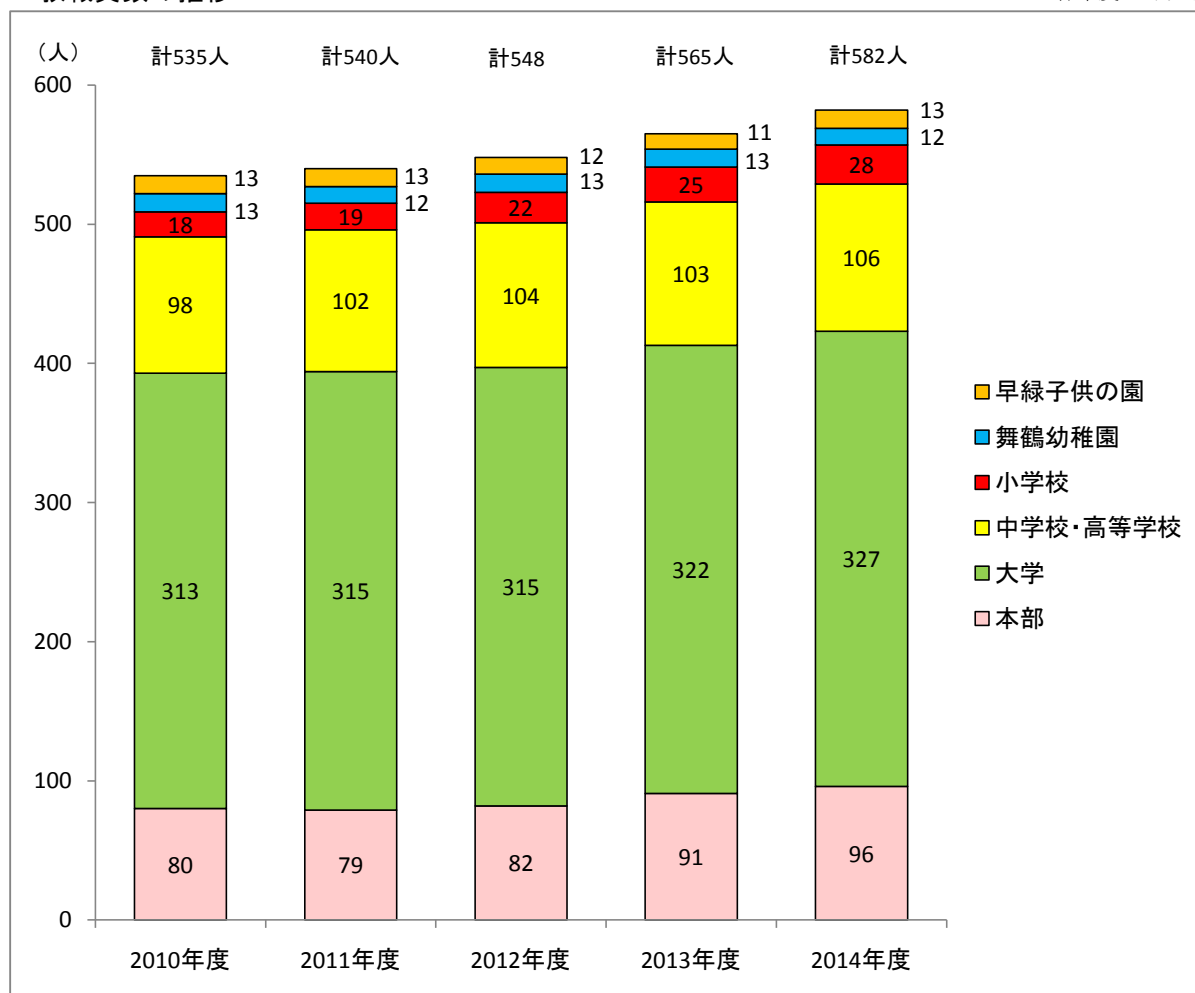
(2) 教職員数

2014(平成26)年5月1日現在

学 校 等	専任教員	特別教員	実務家教員 (法科大学院)	常勤講師 (外国語教員 含む)	特任教員 (保育士含 む)	専任職員	嘱託職員	契約職員	計
本 部	-	-	-	-	-	72	14	10	96
大 学	195	7	6	6	-	81	21	11	327
高等学校	47	-	-	8	-	11	9	2	106
中 学 校	24	-	-	5	-				
小 学 校	16	-	-	6	-	1	5	-	28
舞鶴幼稚園	9	-	-	-	2	-	1	-	12
早緑子供の園	7	-	-	-	3	-	2	1	13
合計	298	7	6	25	5	165	52	24	582

教職員数の推移

各年度 5月1日現在



(3) 入学試験日程

2015(平成27)年度入学試験日程

入学試験等		願書受付期間	試験日	合格者発表等	
大	推 薦	指定校	2014(平成26)年 10月14日(火) ～10月24日(金)	2014(平成26)年 11月8日(土)	2014(平成26)年 11月20日(木)
		独自指定校 <small>(神・英文、フランス専・商・経・法・人間科・国文)</small>			
	西南女学院高校	2014(平成26)年 11月14日(金) 面接			
	西南学院高校				
	公募制 <small>(英文・フランス専・商・経・法)</small>	2014(平成26)年10月20日(月) ～10月31日(金)	2014(平成26)年 11月13日(木)		
	A O選抜入試(英専)		2014(平成26)年 9月24日(水) ～10月3日(金)	2014(平成26)年 10月25日(土)	2014(平成26)年 10月30日(木)
	指定校選抜入試 (英専)		2014(平成26)年10月14日(火) ～10月24日(金)	2014(平成26)年 11月8日(土)	2014(平成26)年 11月20日(木)
	一 般	人間科学部	2015(平成27)年 1月5日(月) ～1月20日(火)	2015(平成27)年 2月4日(水)	2015(平成27)年 2月20日(金)
		神学部		2月5日(木)	
		経済学部		2月6日(金)	
商学部		2月7日(土)			
国際文化学部		2月9日(月)			
文学部					
法学部					
全学部					
一般・センター併用型入試		2015(平成27)年 1月5日(月) ～1月16日(金)	一般入試及びセンター 試験を受験		
大学入試センター試験利用入試 (前期)			2015(平成27)年 1月17日(土) ～1月18日(日)	2015(平成27)年 3月12日(木)	
大学入試センター試験利用入試 (後期)		2015(平成27)年 2月13日(金) ～3月2日(月)			
3年次転・編入等 帰国生		2014(平成26)年 9月24日(水) ～10月3日(金)	2014(平成26)年 10月25日(土)	2014(平成26)年 10月30日(木)	
2年次転・編入 外国人		2014(平成26)年 9月29日(月) ～10月10日(金)	2014(平成26)年 11月14日(金)	2014(平成26)年 11月20日(木)	
大 学 院	博士前期 <small>(法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科)</small>	秋期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2014(平成26)年 7月2日(水) ～7月18日(金)	2014(平成26)年 9月6日(土)	2014(平成26)年 9月10日(水)
		春期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2015(平成27)年 1月6日(火) ～1月16日(金)	2015(平成27)年 2月28日(土)	2015(平成27)年 3月5日(木)
			※飛び級 2015(平成27)年 2月3日(火) ～2月10日(火)		
		外国人等(国外居住者)	2014(平成26)年10月3日(金) ～11月7日(金)		
	博士後期 <small>(法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科)</small>	春期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2015(平成27)年 1月6日(火) ～1月16日(金)	2015(平成27)年 2月27日(金)	
	外国人等(国外居住者)	2014(平成26)年10月3日(金) ～11月7日(金)			

入学試験等		願書受付期間	試験日	合格者発表等	
大学院	大 学 院	専門職学位 法務研究科(法科大学院)	法学未修者及び法学既修者 (8月試験)	法学未修者 2014(平成26)年 8月30日(土) 小論文	2014(平成26)年 9月12日(金)
			2014(平成26)年 7月22日(火) ～ 8月 6日(水)	法学既修者 2014(平成26)年 8月30日(土) 憲法、刑法 8月31日(日) 民法、商法	
			法学未修者(適性第4部利用試験)	2014(平成26)年 9月24日(水) ～ 9月30日(火)	2014(平成26)年 10月 6日(月)
			2014(平成26)年 9月24日(水) ～ 9月30日(火)		
			法学未修者及び法学既修者 (2月試験)	2015(平成27)年 1月 9日(金) ～ 1月26日(月)	2015(平成27)年 2月14日(土) 小論文 2015(平成27)年 2月14日(土) 憲法、刑法 2月15日(日) 民法、商法
高等学校	専願入試	2015(平成27)年 1月21日(水) ～ 1月23日(金)	2015(平成27)年 1月27日(火)	2015(平成27)年 1月29日(木)	
	前期入試	2015(平成27)年 1月30日(金) ～ 2月 4日(水)	2015(平成27)年 2月 6日(金)	2015(平成27)年 2月10日(火)	
	後期入試	2015(平成27)年 2月12日(木) ～ 2月13日(金)	2015(平成27)年 2月14日(土)	2015(平成27)年 2月17日(火)	
	中学校	2014(平成26)年12月19日(金) ～ 2015(平成27)年1月9日(金)	2015(平成27)年 1月20日(火)	2015(平成27)年 1月22日(木)	
	小学校	2014(平成26)年 9月 8日(月) ～10月 3日(金)	2014(平成26)年 10月27日(月) ～11月7日(金) 面接 11月14日(金) 個別適性検査① 11月15日(土) 個別適性検査②及び 集団適性検査	2014(平成26)年 11月20日(木)	
	幼稚園	2014(平成26)年11月 1日(土)	2014(平成26)年 11月 1日(土) 面接	2014(平成26)年 11月 1日(土)	

(4) 入学志願者数及び合格・許可者数
2015(平成27)年度入学志願者数・合格者数

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				入学定員	入学志願者数	合格者・許可者数			
大 学 院	神 学 部	神 学 科		10	91		33		
	文 学 部	英 文 学 科		100	1,220		413		
		外 国 語 学 科	英 語 専 攻	100	1,275		354		
			フ ラ ン ス 語 専 攻	50	637		219		
	商 学 部	商 学 科		150	2,315		693		
		経 営 学 科		150	1,549		608		
	経 済 学 部	経 済 学 科		200	2,330		968		
		国 際 経 済 学 科		100	1,447		471		
	法 学 部	法 律 学 科		270	2,240		934		
		国 際 関 係 法 学 科		80	605		259		
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		100	1,331		436		
		社 会 福 祉 学 科		110	1,342		489		
		心 理 学 科		100	1,173		412		
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		150	2,122		593		
	学 部 計				1,670	19,677		6,882	
	大 学 院	法 学 研 究 科		博 士 前 期	10	秋 期	2	1	2
				博 士 後 期	3	春 期	1	1	0
		経 営 学 研 究 科		博 士 前 期	10	秋 期	10	4	9
				博 士 後 期	3	春 期	13	5	3
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	秋 期	0	0	4
博 士 後 期				3	春 期	5	4	1	
フ ラ ン ス 文 学 専 攻			博 士 前 期	5	秋 期	0	0	0	
			博 士 後 期	3	春 期	0	0	0	
経 済 学 研 究 科			博 士 前 期	7	秋 期	0	0	2	
			博 士 後 期	3	春 期	2	2	0	
神 学 研 究 科			博 士 前 期	7	秋 期	4	2	4	
			博 士 後 期	2	春 期	3	2	0	
人 間 科 学 研 究 科			博 士 前 期	10	秋 期	1	0	4	
			博 士 後 期	3	春 期	5	4	1	
国 際 文 化 研 究 科			博 士 前 期	10	秋 期	3	3	8	
			博 士 後 期	3	春 期	8	5	2	
大 学 院 計				92	65		40		
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	20	46		23		
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済			30	2		2		
選 科 生	神 学 部			若干名	2		1		
大 学 計				1,812	19,792		6,948		
高 等 学 校				450	716		555		
中 学 校				220	1,062		599		
小 学 校				70	125		88		
舞 鶴 幼 稚 園				160	67		61		
早 緑 子 供 の 園				90	47		14		
合 計				2,802	21,809		8,265		

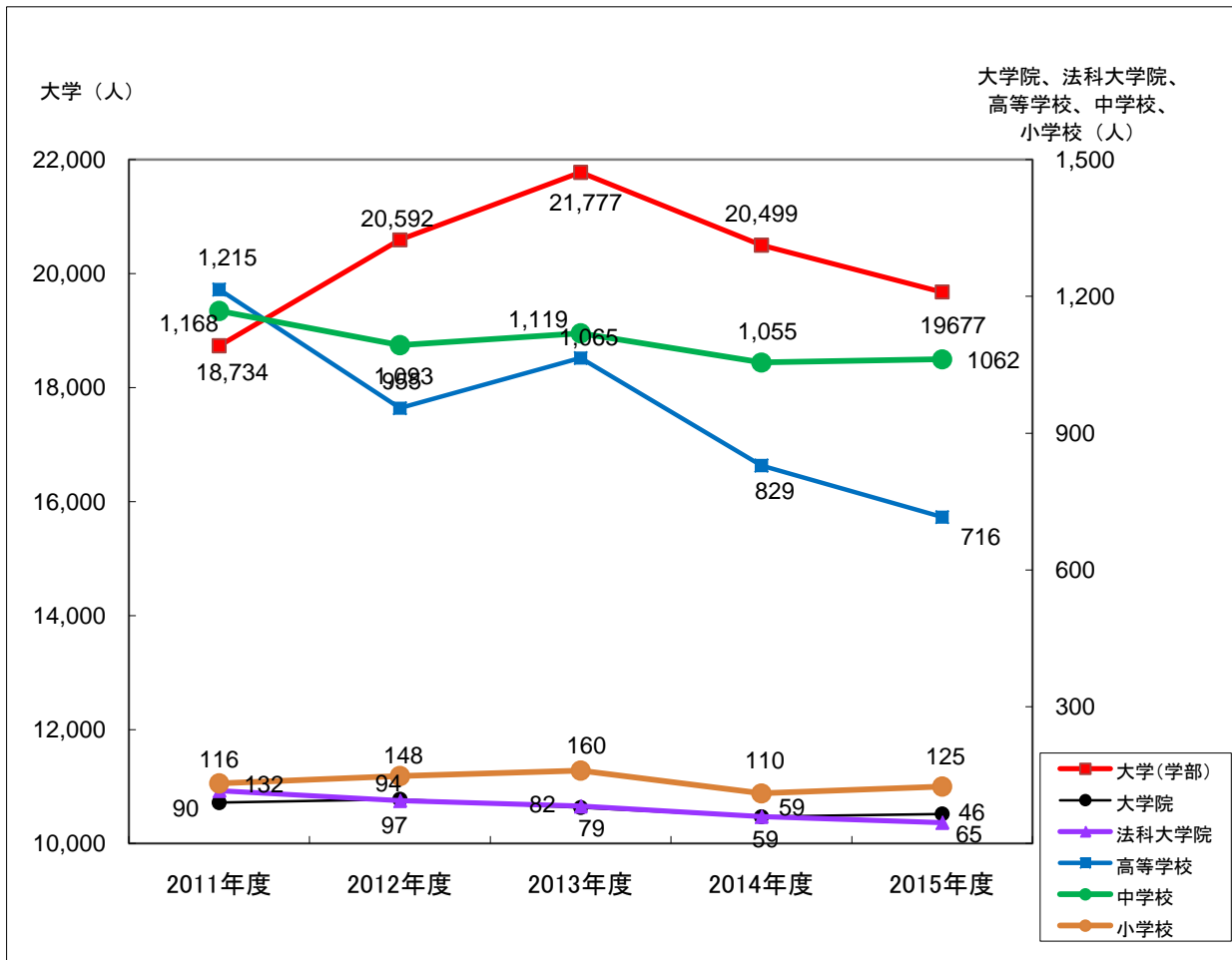
注1. 入学志願者数及び合格者数は1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、指定校推薦(志願者201名、合格者201名)、西南高推薦(志願者56名、合格者56名)、各種推薦等入試(志願者379名、合格者315名)、帰国生入試(志願者8名、合格者5名)、外国人入試(志願者4名、合格者0名)を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 舞鶴幼稚園及び早緑子供の園の入学定員は収容定員を示す。

入学志願者数の推移



注1. 入学志願者数は、1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、各種推薦等入試、帰国子女入試、外国人入試の志願者数を含む。

注3. 留学生別科は除く。

(5) 卒業生数
2014(平成26)年度卒業生数

2015(平成27)年3月31日現在

2014(平成26)年度卒業生等				累 計	廃止学校・学部・学科等卒業生累計				
学校・学部・学科等		人 員							
大 学 部	神学部	神学科	11	427	文商学部	神学専攻	20		
	文学部	英文学科	91	6,809		英文学専攻	88		
		外国語学科	英語専攻	111	5,379	商学専攻	473		
	フランス語専攻		57	2,514	文学部	神学科	113		
	商学部	商学科	155	13,684		英文学科	夜間	78	
		経営学科	175	9,221	商学部	商学科	夜間	674	
	経済学部	経済学科	197	14,362		経済学科		218	
		法学部	国際経済学科	110	2,630	文学専攻科	神学専攻	53	
	法律学科		299	15,113	英文学専攻		94		
	国際関係法学科	90	1,728	英語専攻	14				
	人間科学部	児童教育学科	127	4,654	フランス語専攻		11		
		社会福祉学科	168	1,920	国際文化専攻	21			
	国際文化学部	国際文化学科	135	5,189	商学専攻科	経済学専攻	2		
	(学部計)		1,726	83,630		経営学専攻	7		
	大 学 院	博士前期 修士	法学研究科	0	224	短期大学部	英語科第二部	324	
			経営学研究科	16	274		商学科第二部	1,576	
			文学研究科	英文学専攻	4		158	児童教育科	1,598
				フランス文学専攻	0		60	児童専攻科	0
			経済学研究科	2	91	高等学校	定時制	830	
神学研究科			6	43	早緑幼稚園		412		
人間科学研究科			5	45	西南聖書学院		41		
国際文化研究科			11	171	(廃止学校等計)		6,647		
(博士前期・修士計)			44	1,066					
博士後期		法学研究科	0	40	旧制学校卒業生累計				
	経営学研究科	0	55						
	文学研究科	英文学専攻	1	31					
		フランス文学専攻	1	18					
	経済学研究科	0	0						
	神学研究科	0	1						
	人間科学研究科	1	6						
国際文化研究科	2	38							
(博士後期計)		5	189	中学部	本科	2,283			
(大学院計)		49	1,255	商業学校	本科	456			
法務研究科(法科大学院)		9	248	工業学校	別科	4			
専攻科	神学専攻科	神学専攻	2	269	高等学部	英文科	566		
	商学専攻科	商学専攻	0	116		研究科	11		
	経済学専攻科	経済学専攻	0	108	経済専門学校	補習科	22		
	(専攻科計)		2	493		経済科	2,223		
選科生	神学部	0	92	専門学校一部	商科				
留学生別科(終了者)		66	927		神学科本科	30			
《大学計》		1,852	86,645	神学科選科	12				
高等学校	全日制	399	25,224	英文科	55				
中学校		214	12,877	専門学校二部	経済科	142			
小学校		59	127		実務科	159			
舞鶴幼稚園		49	5,262	専門学校	別科	271			
早緑子供の園		16	887	児童教育科		4			
婦人部制				(旧制学校等計)		6,238			
合計		2,589	131,022	合計		12,885			
総	合	計				143,907			

注1. 大学院博士後期課程は、単位修得満期退学者数を示す。

注2. 留学生別科は、2013-2014年度(通年・後期)及び2014-2015年度(前期)の留学生別科終了者数を示す。

(6) 大学卒業生就職状況

2015(平成27)年5月1日現在

A. 就職状況

区 分		神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計	
卒業生総数		11	259	330	307	389	295	135	1,726	
卒業後の進路	就職者数	自家営業	1					2	3	
		自家営業以外	3	209	285	257	309	247	98	1,408
	進学者数	(大学院)	6	4	2	1	10	3	5	31
		(大学院以外)			1			4		5
上記以外		2	45	42	49	70	41	30	279	
就職希望者数		3	213	290	261	316	257	104	1,444	

注1) 就職者数は、正式に「進路報告書」を提出した者および就職課で把握している内定者の合計人数

注2) 進学者数(大学院)は、大学院、法科大学院に進学した者の人数

注3) 進学者数(大学院以外)は、大学学部・学科、専攻科・別科に進学した者の人数

注4) 上記以外は、進学準備者、受験準備者、専修学校等入学者、アルバイト・パート、就職未決定者、進路未報告者等の合計人数

B. 業種別就職状況

区 分	神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計
農業、林業								
漁業								
鉱業、採石業、砂利採取業								
建設業		7	10	7	11	3	3	41
製造業	2	6	18	30	21	13	13	103
電気・ガス・熱供給・水道業		1		1		1		3
情報通信業		16	24	13	19	6	3	81
運輸業、郵便業		24	8	11	6	4	6	59
卸売業、小売業	1	33	54	48	34	26	16	212
金融業、保険業		34	99	71	76	31	19	330
不動産業、物品賃貸業		12	14	14	12	10	5	67
学術研究、専門・技術サービス業		8	12	13	18	5	7	63
宿泊業、飲食サービス業		6	3	3	2	2		16
生活関連サービス業、娯楽業		23	7	13	10	5	8	66
教育、学習支援業		11	4	6	11	24	1	57
医療、福祉		6	6	2	6	58	2	80
複合サービス事業		2	7	4	18	7	4	42
サービス業(他に分類されないもの)		7	12	3	13	6	8	49
公務(他に分類されるものを除く)		13	7	18	52	46	3	139
上記以外のもの(自家営業・分類不能の産業)		1					2	3
合 計	3	210	285	257	309	247	100	1,411

注1) 業種別就職状況は、正式に「進路報告書」を就職課に提出した者および自家営業の合計人数とし、就職課で把握している内定者は除く。

Ⅲ. 財務の概要

2014(平成26)年度の予算の執行状況について、その資金収支計算、消費収支計算、貸借対照表、財務比率などの推移比較表等は以下のとおりである。

1. 資金収支計算

資金収支総括表
(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
学生生徒納付金収入	9,192	9,172	20	100%
手数料収入	505	509	△ 4	101%
寄付金収入	178	262	△ 85	148%
補助金収入	1,259	1,327	△ 69	105%
資産運用収入	191	223	△ 32	117%
資産売却収入	3,100	3,500	△ 400	113%
事業収入	300	273	28	91%
雑収入	269	299	△ 30	111%
前受金収入	1,654	1,772	△ 118	107%
その他の収入	4,466	5,462	△ 996	122%
資金収入調整勘定	△ 1,933	△ 1,945	12	101%
当年度資金収入合計	19,181	20,855	△ 1,674	109%
前年度繰越支払資金	5,685	5,685		
収入の部合計	24,866	26,540	△ 1,674	

入学検定料が増加した。

創立100周年記念寄付金等が増加した。

経常費補助金が増加した。

有価証券の償還が行われた。

退職金団体からの交付金が増加した。

預り金受入額が増加した。

資金の受入が次年度になるもの又前年度に資金の受入が済んでいるものを控除している。

物品調達や業務委託内容の見直し等、経費節減に努めている。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
人件費支出	7,287	7,201	86	99%
教育研究経費支出	2,577	2,236	341	87%
管理経費支出	974	818	157	84%
施設関係支出	1,156	1,073	83	93%
設備関係支出	372	330	42	89%
資産運用支出	3,641	5,285	△ 1,644	145%
その他の支出	2,838	3,415	△ 577	120%
予備費	41	41		0%
資金支出調整勘定	△ 80	△ 161	81	200%
当年度資金支出合計	18,806	20,196	△ 1,390	107%
次年度繰越支払資金	6,060	6,343	△ 283	
支出の部合計	24,866	26,540	△ 1,674	

100周年記念館の建設着工が翌年度になった。

長期性預金への振替、施設・設備拡充引当特定資産から施設拡充引当資産への振替等。

預り金の支出が増加した。

資金の支払が次年度になるもの又前年度に資金の支払が済んでいるものを控除している。

当年度資金収支差額	375	658	△ 283
-----------	-----	-----	-------

前年度繰越支払資金より6億5,800万円上回っている。有価証券の償還等により、現金預金有高が増加した。

経常的収支計算

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
経常的収入(網掛け科目)	11,893	12,066	△ 173	101%
経常的支出(網掛け科目)	10,838	10,254	584	95%
経常的収支差額	1,055	1,812	△ 757	

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

2. 消費収支計算

説明は資金収支計算書と異なる部分について行っている。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金	9,192	9,172	20
手数料	505	509	△ 4
寄付金	178	271	△ 94
補助金	1,259	1,327	△ 69
資産運用収入	191	223	△ 32
資産売却差額	0	160	△ 160
事業収入	300	273	28
雑収入	269	304	△ 35
帰属収入合計	11,893	12,240	△ 347
基本金組入額合計	△ 1,880	△ 1,969	89
消費収入の部合計	10,014	10,271	△ 258

寄贈図書、寄贈備品を受け入れた。

評価替えした有価証券の償還差額。

(消費支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費	7,315	7,227	87
教育研究経費	3,596	3,260	336
(内、減価償却費)	1,020	1,024	△ 5
管理経費	1,152	968	184
(内、減価償却費)	178	150	27
資産処分差額	203	210	△ 7
徴収不能引当金繰入	0	0	△ 0
予備費	94	94	94
消費支出の部合計	12,360	11,665	695

建物、構築物等を除却した。

消費収入決算額が102億7,100万円に対し、消費支出決算額は116億6,500万円で、単年度では13億9400万円の支出超過となる。

帰属収支差額	△ 466	575
帰属収支差額比率	△ 3.9%	4.7%
当年度消費支出超過額	2,346	1,394
前年度繰越消費収入超過額	502	502
翌年度繰越消費支出超過額	1,844	892

当年度消費支出超過額から前年度繰越消費収入超過額を差し引いて8億9,200万円となる。予算額より9億5,200万円好転した。

※帰属収入(122.4億円)の構成比

学納金(大学)	62.8%
学納金(中高)	9.4%
学納金(小学校)	2.2%
学納金(幼稚園)	0.6%
手数料	4.2%
寄付金	2.2%
補助金	10.8%
資産運用収入	1.8%
資産売却差額	1.3%
事業収入	2.2%
雑収入	2.5%

※消費支出(116.7億円)の構成比率

教員人件費	40.2%
職員人件費	18.5%
役員報酬	0.2%
退職給与引当金繰入額	3.1%
教育研究経費	27.9%
(内減価償却費)	8.8%
管理経費	8.3%
(内減価償却費)	1.3%
資産処分差額	1.8%
徴収不能引当金繰入	0.0%

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

3. 貸借対照表

貸借対照表

資産の部 (単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	58,371	57,740	631
有形固定資産	39,644	39,916	△ 272
その他の固定資産	18,727	17,824	903
流動資産	7,710	7,718	△ 9
合 計	66,080	65,458	622

建物の売却、除却等による。

有価証券、奨学基金等が増加。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
負債			
固定負債	3,135	3,066	69
流動負債	2,681	2,702	△ 22
合 計	5,816	5,768	47
基本金	61,156	59,188	1,969
消費収支差額	△ 892	502	△ 1,394
合 計	66,080	65,458	622

長期リース資産の未払額が増加。

取得した固定資産に係る基本金及び第2号基本金、第3号基本金の組入れを行った。

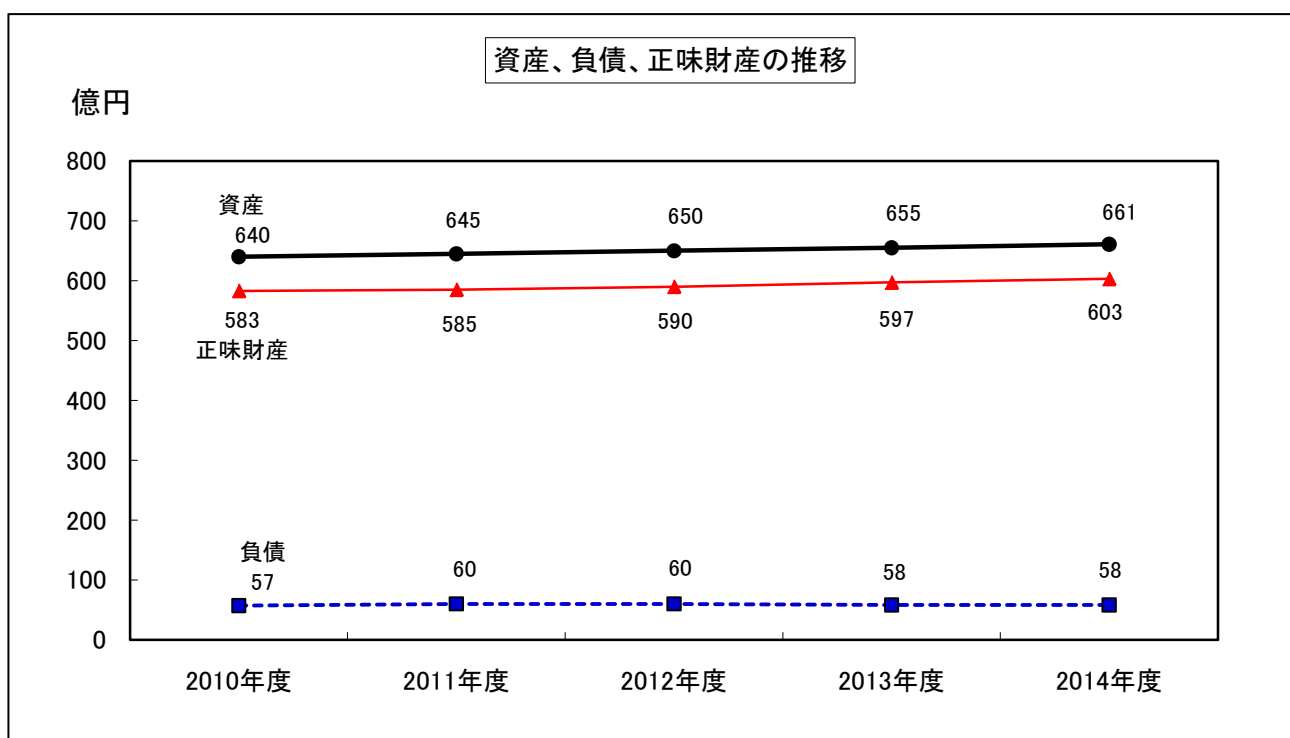
(参考)

正 味 資 産	60,265	59,690	575
---------	--------	--------	-----

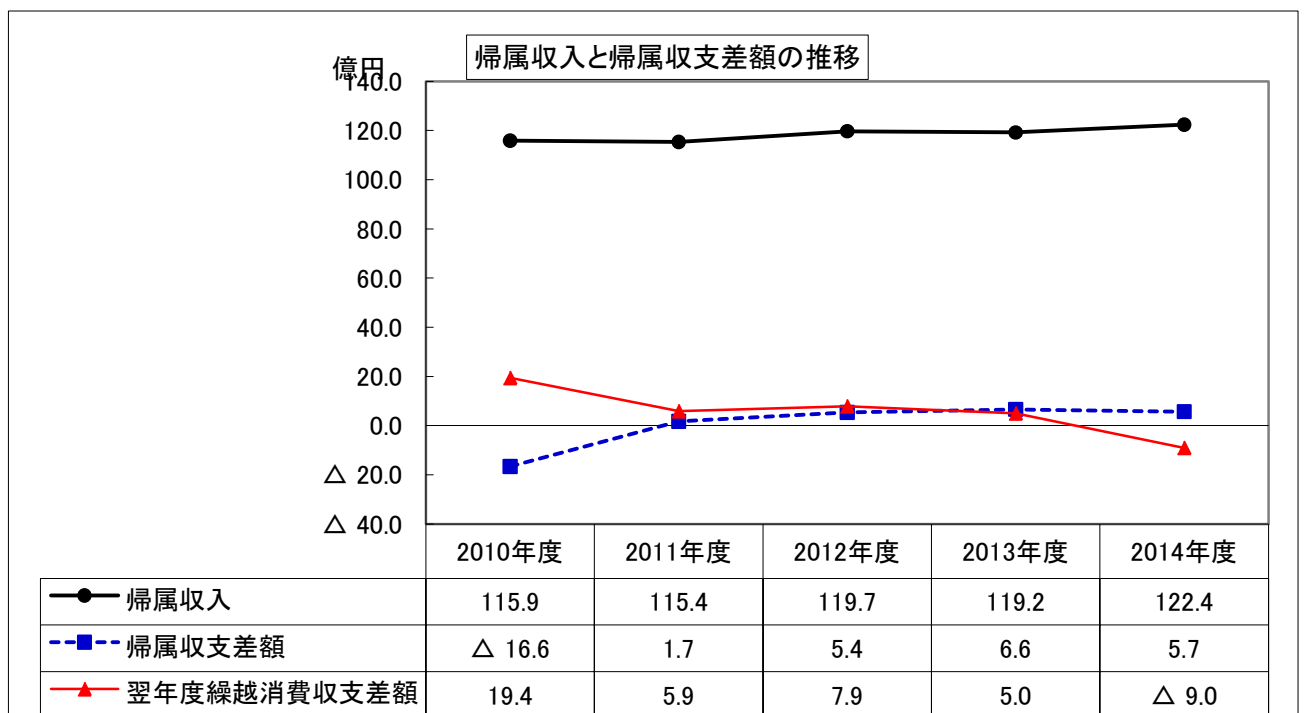
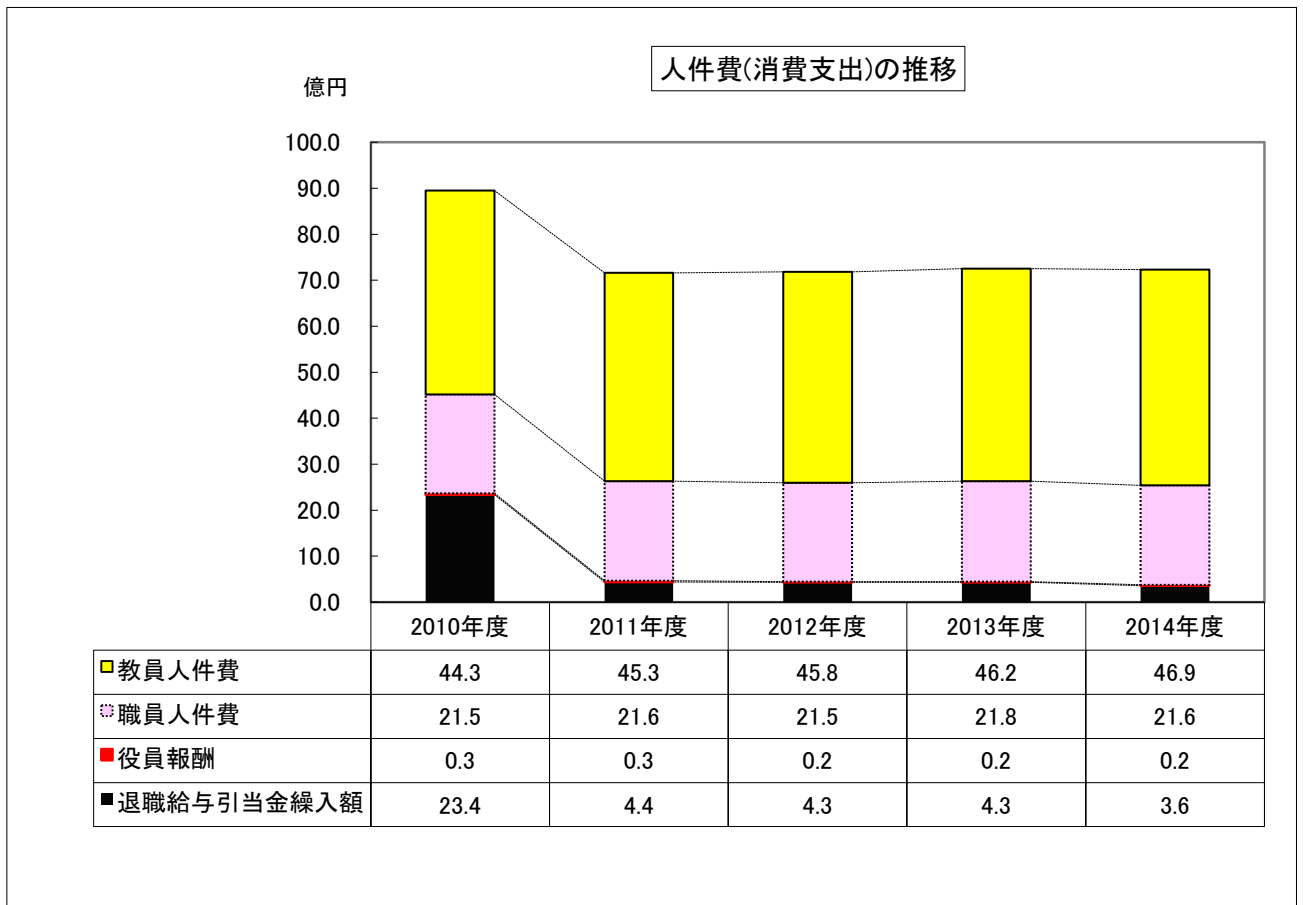
※正味資産=資産-負債(=基本金+消費収支差額)

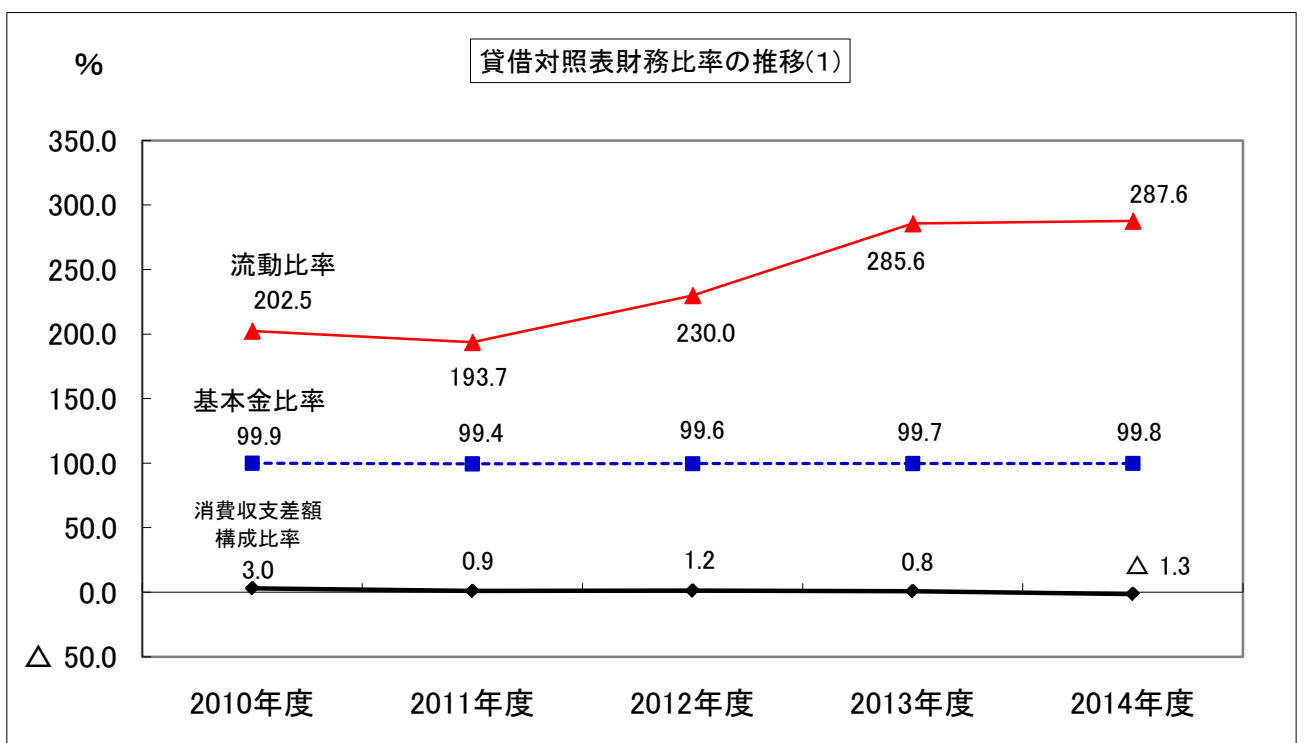
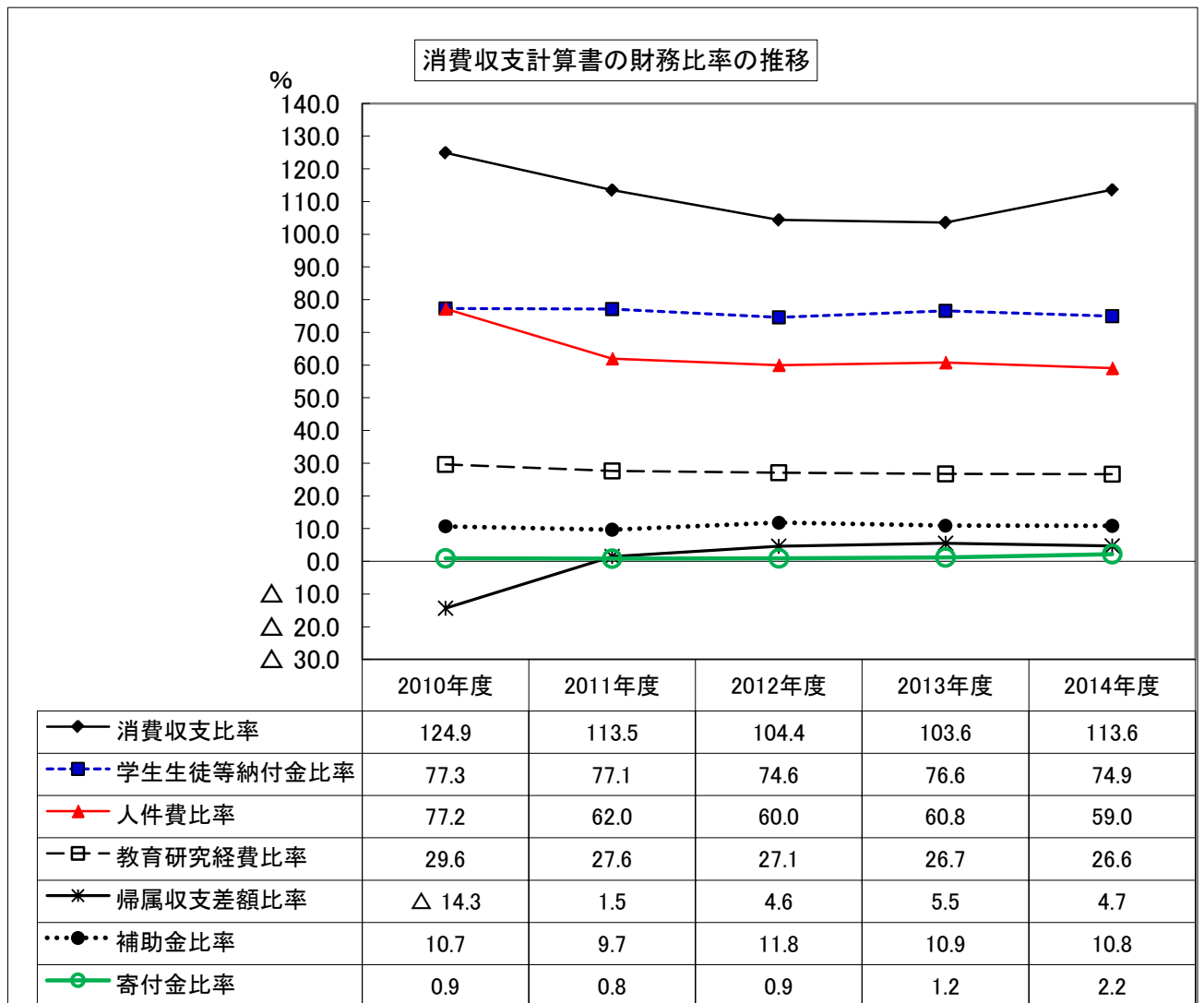
減価償却額の累計額	12,534	11,936	598
基本金未組入額	102	156	△ 54

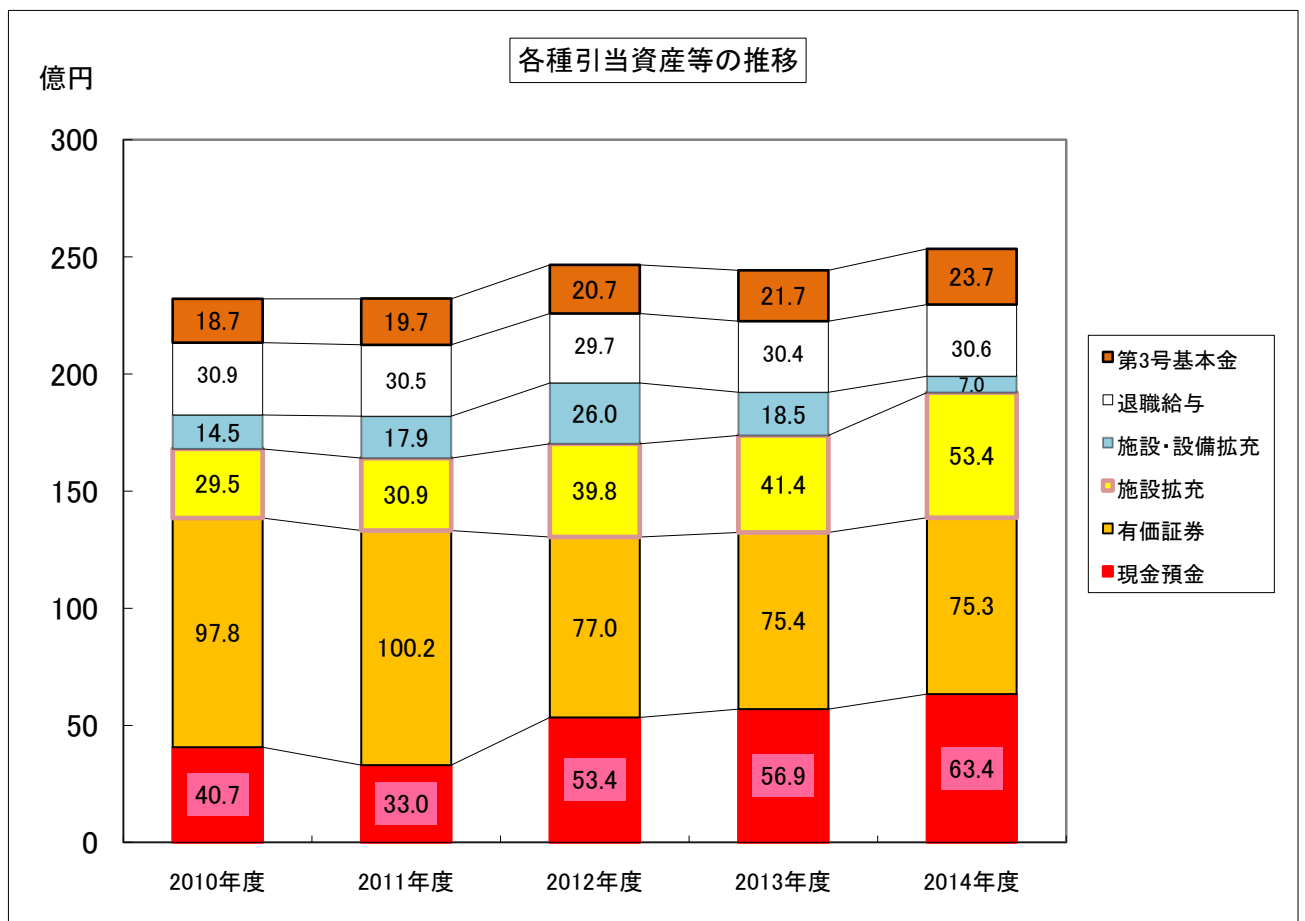
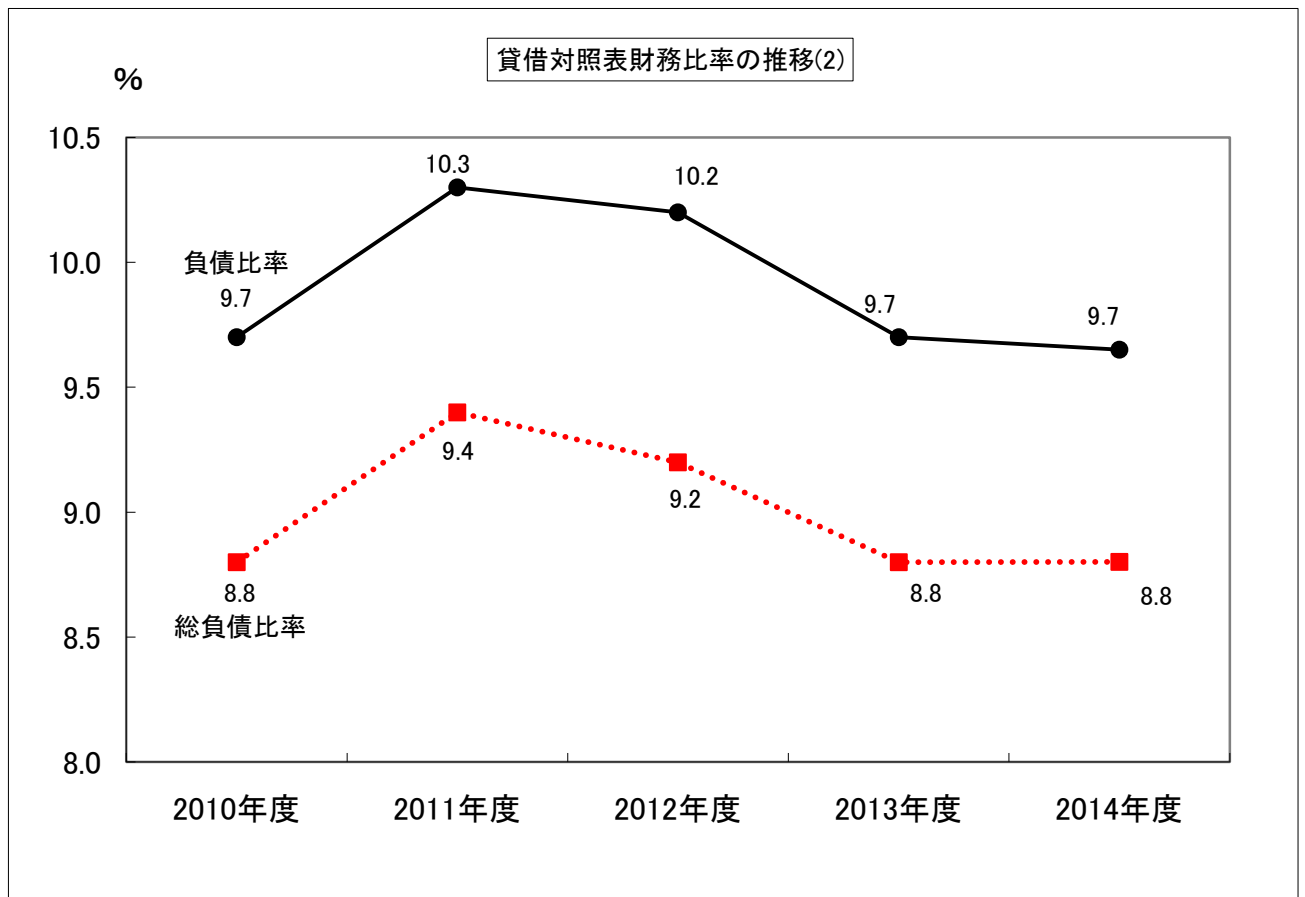
※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。



4. 財務比率などの推移







5. 財務比率比較表

(単位:%)

区 分				西南学院		全国平均	同系統	評価
				2014年度	2013年度	2013年度	2013年度	
貸借対照表関係比率	自己資金は充実されているか	自己資金比率	自己資金 総資金	91.2	91.2	87.4	88.2	△
		消費収支差額構成比率	消費収支差額 総資金	△ 1.3	0.8	△ 12.2	△ 13.0	△
		基本金比率	基本金	99.8	99.7	97.1	97.7	△
			基本金要組入額					
	長期資金で固定資産は賅われているか	固定比率	固定資産 自己資金	96.9	96.7	99.2	97.4	▼
		固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	92.1	92.0	91.7	90.8	▼
	資産構成はどうか	固定資産率	固定資産 総資産	88.3	88.2	86.7	86.0	▼
		有形固定資産率	有形固定資産 総資産	60.0	61.0	61.2	61.6	▼
		その他の固定資産率	その他の固定資産 総資産	28.3	27.2	25.5	24.4	△
		流動資産率	流動資産 総資産	11.7	11.8	13.3	14.0	△
		減価償却比率	減価償却累計額(図書除く) 減価償却資産取得額(同)	39.8	37.4	48.0	49.0	～
	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保率	運用資産-総負債 総資産	31.2	30.2	26.2	26.6	△
		運用余裕比率	運用資産-外部負債	2.2	2.2	1.8	1.9	△
		流動比率	流動資産 流動負債	287.6	285.6	245.9	263.6	△
		前受金保有率	現金預金 前受金	358.0	336.6	327.9	343.2	△
		退職給与引当預金率	退職給与引当資産 退職給与引当金	100.0	100.0	67.1	68.1	△
	負債の割合はどうか	固定負債率	固定負債 総資金	4.7	4.7	7.2	6.4	▼
		流動負債率	流動負債 総資金	4.1	4.1	5.4	5.3	▼
		総負債率	総負債 総資産	8.8	8.8	12.6	11.8	▼
		負債比率	総負債 自己資金	9.7	9.7	14.4	13.3	▼
消費収支計算書関係比率	経営状況はどうか	帰属収支差額	帰属収入-消費支出 帰属収入	4.7	5.5	5.2	5.1	△
	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	74.9	76.6	72.4	70.9	～
		寄付金比率	寄付金 帰属収入	2.2	1.2	2.2	3.6	△
		補助金比率	補助金 帰属収入	10.8	10.9	12.8	13.8	△
	支出構成は適切であるか	人件費比率	人件費 帰属収入	59.0	60.8	52.4	54.1	▼
		教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	26.6	26.7	31.5	28.6	△
		管理経費比率	管理経費 帰属収入	7.9	6.9	8.8	9.4	▼
		借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	0.0	0.0	0.3	0.2	▼
		基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	16.1	8.8	12.1	12.4	△
	収入と支出のバランスはとれているか	減価償却費比率	減価償却費 消費支出	10.1	10.6	11.7	11.0	～
人件費依存率		人件費 学生生徒等納付金	78.8	79.4	72.4	76.3	▼	
	消費収支比率	消費支出 消費収入	113.6	103.6	107.8	108.4	▼	

・(資料)平成26年度版 今日私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)

・上表区分中、「全国」は医歯法人を除く、「同系統」は「文他複数学部;152法人」である。

・(評価)△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い ～ どちらともいえない

6. 学生生徒等納付金一覧表

2014(平成26)年度 学生生徒等納付金一覧表

年 額
単位:円

項 目	大学院	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
入 学 金 (入 学 申 込 金)	135,000 <135,000>	200,000	40,000	100,000	100,000	80,000
施 設 拡 充 費			250,000	200,000	200,000	30,000
計 (入 学 時)	135,000 <135,000>	200,000	290,000	300,000	300,000	110,000
授 業 料	576,000 <1,100,000>	740,000	360,000 (30,000)	360,000 (30,000)	540,000 (45,000)	294,000 (24,500)
施 設 費	130,000 <130,000>	130,000 【170,000】	90,000 (7,500)	90,000 (7,500)		30,000 (2,500)
教 育 充 実 費		【40,000】			60,000 (5,000)	
保 育 充 実 費						54,000 (4,500)
空 調 費			12,000 (1,000)	12,000 (1,000)		
計(毎年)	706,000 <1,230,000>	870,000 【950,000】	462,000 (38,500)	462,000 (38,500)	600,000 (50,000)	378,000 (31,500)
合 計	841,000 <1,365,000>	1,070,000 【1,150,000】	752,000	762,000	900,000	488,000

- 注1. 【 】 内の数字は2014年度新入生の納付金を示す。
 2. < > 内の数字は法科大学院の納付金を示す。
 3. () 内の数字は毎月の納付金を示す。
 4. 卒業延期生の授業料は、一単位当たりの授業料(学部:@24,000円、大学院:@40,000円、法科大学院:@30,000円)×不足単位数で算定する。
 5. 休学時は、在籍基本料を年間120,000円(半期60,000円)徴収する。(授業料、施設費は徴収しない)
 6. 本学からの大学院入学生(法科大学院生も含む)については、入学金を徴収しない。
 7. 中・高一貫教育に伴い本学院中学校から高等学校へ入学する者については施設拡充費200,000円を徴収し、入学金は徴収しない。

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>